

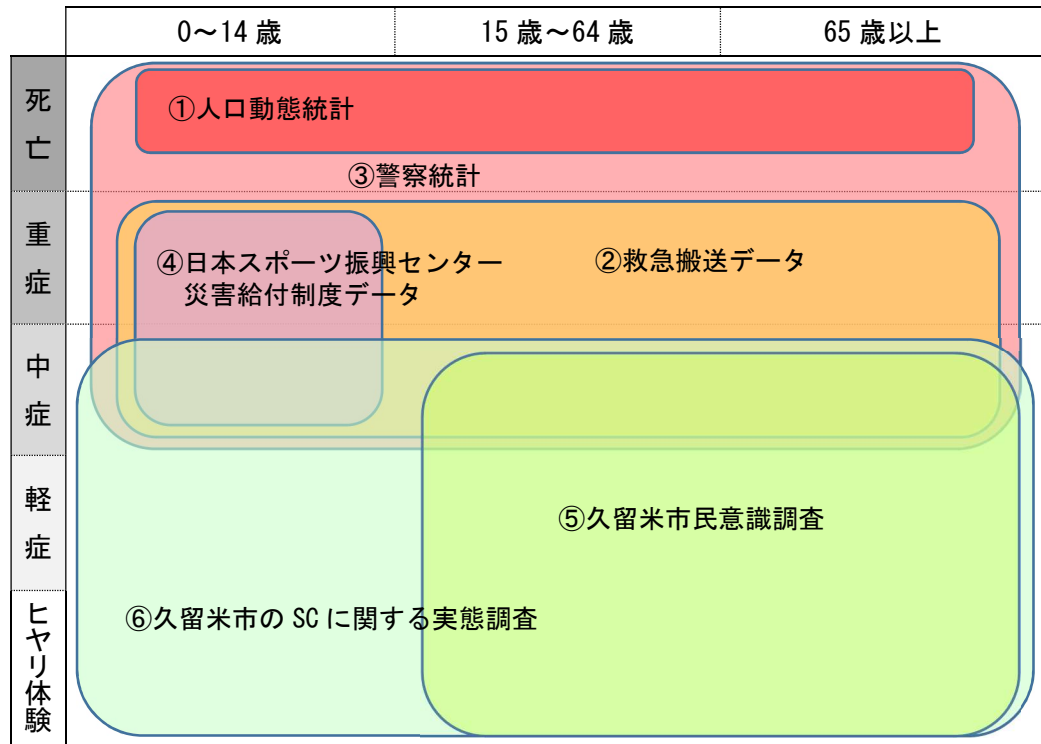
久留米市 主な統計データ

<目次>

1 外傷サーベイランスの全体像	252
2 外傷サーベイランスを構成するデータ	252
3 外的要因による死亡に関する状況 (人口動態統計)	254
4 救急搬送に関するデータ (久留米広域消防本部救急搬送データ)	260
5 交通事故に関する状況 (警察統計)	266
6 犯罪に関する状況 (警察統計)	269
7 児童相談に関する状況 (家庭子ども相談課集計)	272
8 児童のけがに関する状況 (日本スポーツ振興センター災害給付データ)	274
8 高齢者虐待に関する状況 (長寿支援課集計)	276
9 DVに関する状況 (男女平等推進センター・家庭子ども相談課集計、 (久留米市男女平等に関する市民意識調査)	278
10 自殺に関する状況 (人口動態統計)	280
11 災害に関する状況 (気象庁ホームページ)	281

1 外傷サーベイランスの全体像

久留米市では、様々なデータを活用し各領域をカバーしている。



2 外傷サーベイランスを構成するデータ

外傷サーベイランスを構成するデータについては、持続可能なシステムにするために、次のとおり継続的なデータ収集の計画を立て収集・記録している。

No.	データの名称 (収集先)	内容 (収集頻度)	活用する対策委員会							
			交通	児童虐待	学校	高齢者	防犯	DV	自殺	防災
①	人口動態統計 (厚生労働省)	死亡に関する情報 (毎年)	●			●			●	
②	救急搬送データ (久留米広域消防本部)	けがや事故による救急搬送の情報 (毎年)	●		●	●			●	
③	警察統計 (久留米警察署)	交通事故や犯罪に関する情報 (毎年)	●		●		●			
④	災害給付制度データ (日本スポーツ振興センター)	学校のけがや事故に関する情報 (毎年)			●					
⑤	久留米市民意識調査 (久留米市)	けがや事故、犯罪、災害等への意識に関する情報 (5 年に 1 回)	●	●	●	●	●	●	●	●
⑥	久留米市の SC に関する実態調査 (久留米市)	けがや事故及び SC の取組に関する情報 (5 年に 1 回)	●	●	●	●	●	●	●	●

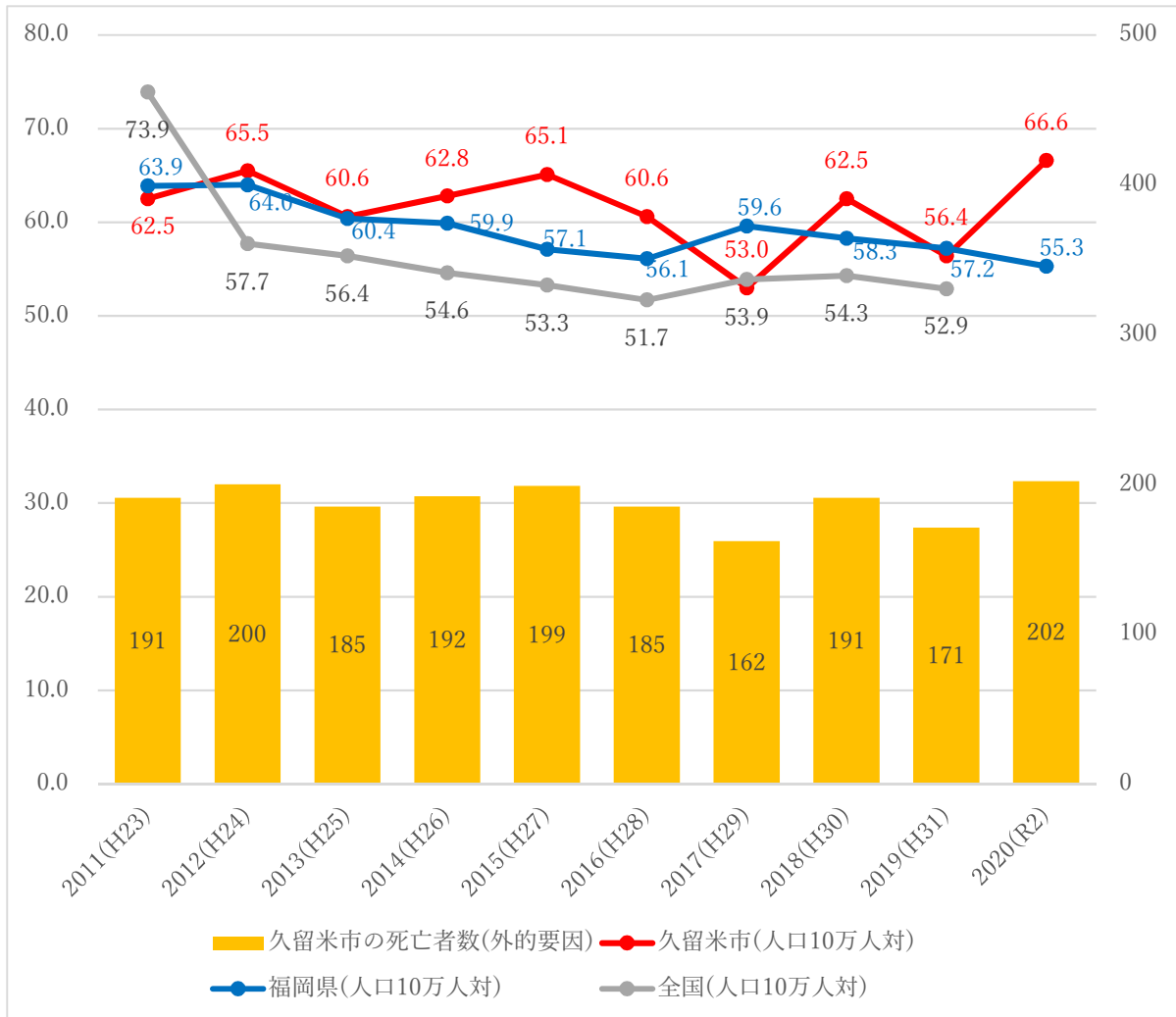
【個別データ】

No.	データの名称 (収集先)	内容・収集頻度	活用する対策委員会							
			交通	児童虐待	学校	高齢者	防犯	D V	自殺	防災
1	自転車駐車場利用者アンケート (久留米市)	自転車安全利用に関する情報 (毎年)	●							
2	家庭子ども相談課相談記録 (久留米市)	児童虐待発生や相談に関する情報 (毎年)		●				●		
3	児童相談所相談記録 (福岡県)	児童虐待発生や相談に関する情報 (毎年)		●						
4	児童生徒の問題行動に関する調査 (文部科学省)	いじめの発生・解決件数等に関する情報 (毎年)			●					
5	あんぜんアンケート (久留米市)	小学生の安全に対する意識に関する情報 (毎年)			●					
6	高齢者実態調査 (久留米市)	高齢者の転倒や虐待に関する認識等に関する情報 (3年に1回)				●				
7	長寿支援課記録 (久留米市)	高齢者虐待の発生や相談に関する情報 (毎年)				●				
8	市政アンケートモニター (久留米市)	体感治安や市政への意向・ニーズに関するアンケート (毎年)					●			
9	男女平等に関する市民意識調査 (久留米市)	D Vや男女平等に対する意識に関する情報 (5年に1回)						●		
10	男女平等推進センター記録 (久留米市)	D V発生や相談に関する情報 (毎年)						●		
11	自殺の原因・動機別データ (警察庁)	自殺について原因や動機別に表した統計データ (毎年)							●	
12	保健予防課記録 (久留米市)	精神保健相談等に関する情報 (毎年)							●	
13	防災対策課記録 (久留米市)	自主防災活動等に関する情報 (毎年)								●

3 外的要因による死亡に関する状況

(1) 外的要因による死亡者数（人口動態統計）

久留米市の外的要因による死亡者数は、ほぼ横ばいで推移しており、人口10万人あたりの死亡者数は、全国や福岡県を上回っています。



(2) 年齢階級別の死亡原因上位（福岡県保健統計年報、H27～R1 の5年間の累計）

() 内は人数

年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9歳	染色体異常等(14)	その他(8)	感染症等(3)	周産期に発生した病態(3)	新生物〈腫瘍〉/インフルエンザ/不慮の溺死及び溺水(2)
10～19歳	自殺(12)	不慮の事故(4)	新生物〈腫瘍〉(4)	神経系の疾患(2)	
20～29歳	自殺(27)	不慮の事故(7)	新生物〈腫瘍〉(7)	その他の外因(4)	心疾患(3)
30～39歳	新生物〈腫瘍〉(27)	自殺(23)	不慮の事故(6)	脳血管疾患(6)	その他の症状(4)
40～49歳	新生物〈腫瘍〉(124)	自殺(41)	脳血管疾患(28)	消化器系の疾患(17)	不慮の事故(14)
50～59歳	新生物〈腫瘍〉(255)	自殺(49)	脳血管疾患(45)	心疾患(36)	消化器系の疾患(35)
60～69歳	新生物〈腫瘍〉(846)	心疾患(119)	脳血管疾患(96)	消化器系の疾患(84)	その他の呼吸器系疾患(64)
70～79歳	新生物〈腫瘍〉(1,320)	心疾患(234)	脳血管疾患(193)	肺炎(182)	その他の呼吸器系疾患(159)
80～89歳	新生物〈腫瘍〉(1,652)	心疾患(678)	肺炎(489)	脳血管疾患(474)	その他の呼吸器系疾患(441)
90歳以上	心疾患(670)	老衰(654)	新生物〈腫瘍〉(602)	肺炎(433)	脳血管疾患(381)

(3) 死亡統計における不慮の事故等のデータ（人口動態統計、H28～R2 年の 5 年間の累計）

①年齢層別 不慮の事故等による死亡の上位 5 位

10～69 歳の自殺の件数は他の要因と比較して特に多い。

また、高齢になるほど溺死・溺水、転倒・転落、窒息による死亡が多い。

() 内は人数

年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9歳	溺死・溺水(2)	転倒・転落(1)			
10～19歳	自殺(13)	交通事故(2)	転倒・転落(1)		
20～29歳	自殺(23)	交通事故(7)	転倒・転落(1)		
30～39歳	自殺(30)	溺死・溺水(3)	交通事故(1)	転倒・転落(1)	窒息(1)
40～49歳	自殺(43)	転倒・転落(4)	窒息(4)	交通事故(3)	溺死・溺水/煙・火/中毒/その他不慮の事故(1)
50～59歳	自殺(50)	交通事故(5)	溺死・溺水(4)	その他不慮の事故(4)	窒息(3) 中毒(3)
60～69歳	自殺(39)	溺死・溺水(21)	その他不慮の事故(12)	窒息(10)	交通事故(9)
70～79歳	溺死・溺水(52)	自殺(31)	窒息(24)	その他不慮の事故(16)	転倒・転落(13)
80～89歳	溺死・溺水(83)	その他不慮の事故(34)	転倒・転落(33)	窒息(33)	自殺(24)
90歳以上	転倒・転落(45)	溺死・溺水(28)	窒息(24)	その他不慮の事故(20)	自殺(5)
合計	自殺(258)	溺死・溺水(194)	転倒・転落(106)	窒息(100)	その他不慮の事故(87)

過去の累計と比較すると、全体的に交通事故による死亡が減少している。また、10 歳代の自殺、60 歳以上の溺死・溺水、80 歳以上の転倒・転落による死亡が増加している。

平成 25 年認証申請書より（人口動態統計、H19～23 年の 5 年間の累計）

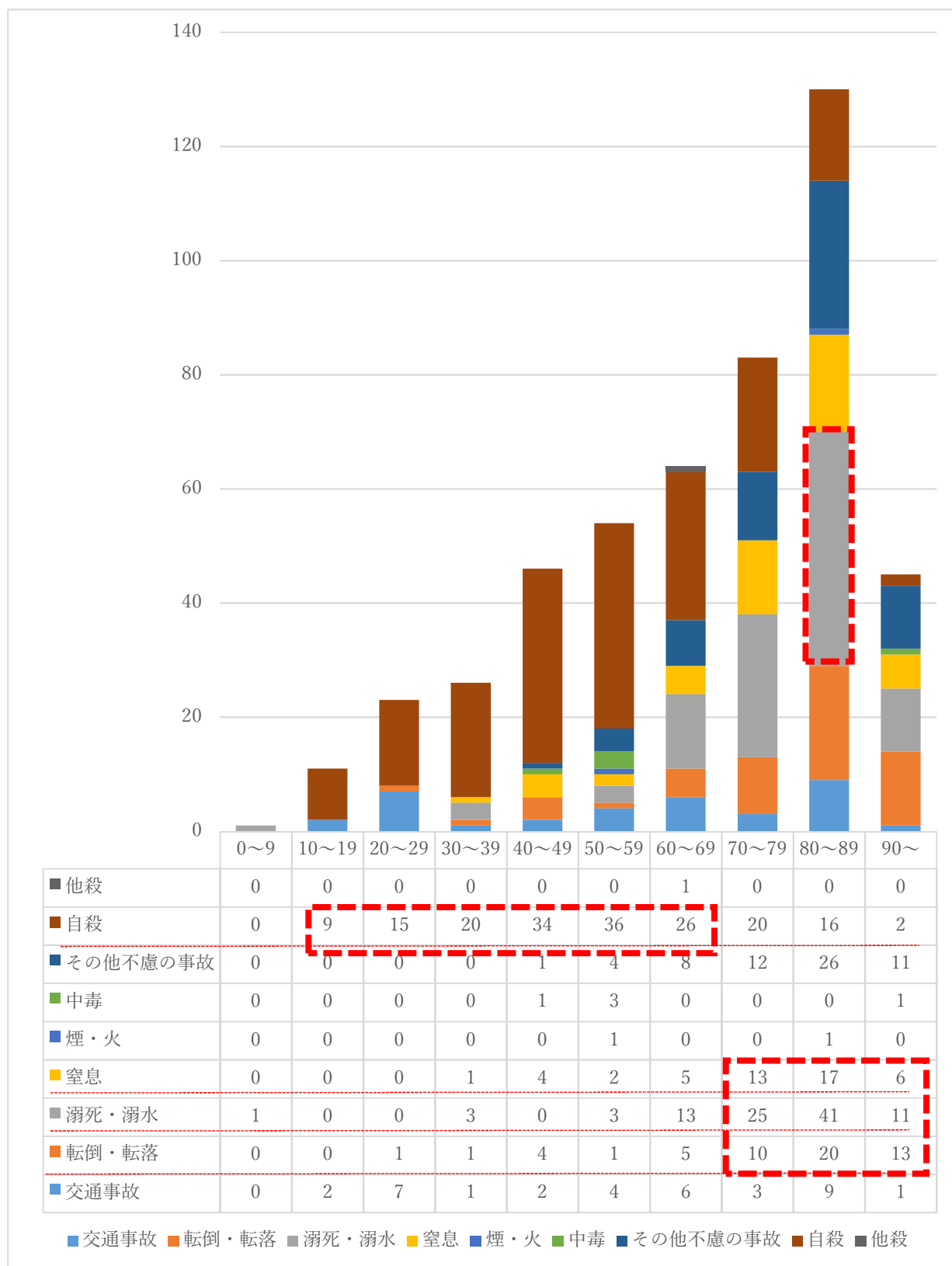
年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9歳	溺死・溺水(2)	交通事故(1)			
10～19歳	自殺(8)	交通事故(5)	転倒・転落(1)		
20～29歳	自殺(38)	交通事故(7)	溺死・溺水(4)	煙・火(1)	
30～39歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(4)	転倒・転落(2)	他殺(1)
40～49歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(3)	溺死・溺水(2)	転倒・転落(1)
50～59歳	自殺(86)	交通事故(13)	溺死・溺水(4)	窒息(7)	その他不慮の事故 (6)
60～69歳	自殺(56)	溺死・溺水(14)	交通事故(12)	窒息(10)	転倒・転落(7)
70～79歳	溺死・溺水(44)	自殺(40)	窒息(26)	転倒・転落(25)	交通事故(17)
80～89歳	溺死・溺水(55)	窒息(22)	その他不慮の事故 (28)	転倒・転落(24)	自殺(21)
90歳以上	転倒・転落(23)	窒息(22)	溺死・溺水(11)	その他不慮の事故 (8)	交通事故(6)
合計	自殺(369)	溺死・溺水(143)	窒息(115)	転倒・転落(88)	交通事故(84)

② [男性] 不慮の事故、自殺による死亡数

80 歳代の件数が最も多く、要因として溺死・溺水の件数が多い。

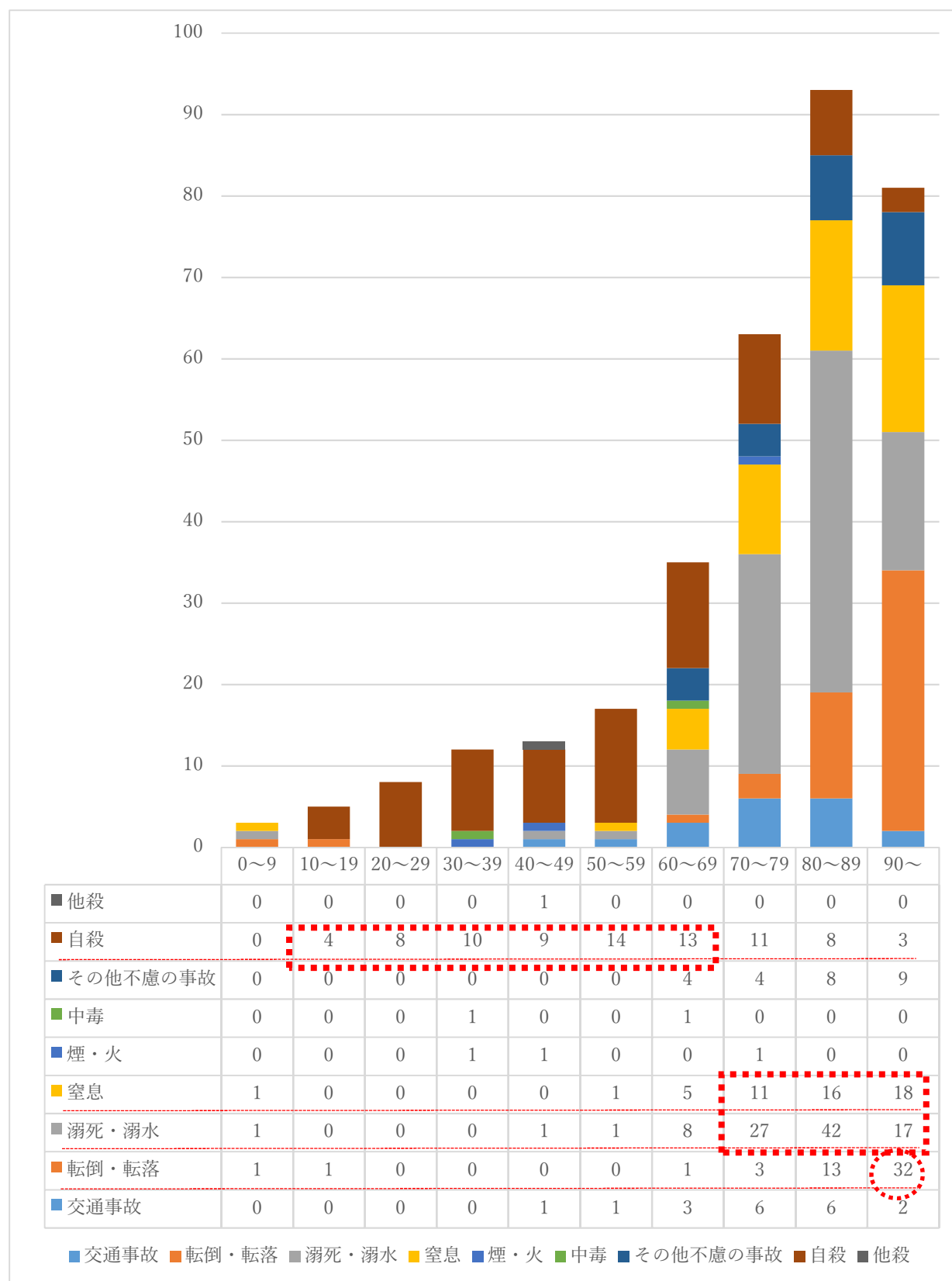
10～60 歳代は、自殺の件数が最も多い。

70 歳以上は、溺死・溺水、窒息、転倒・転落の件数が多くなる。



③ [女性] 不慮の事故、自殺による死亡数

70 歳代以上の高齢者層の主な要因は溺死・溺水、窒息である。90 歳代以上は転倒・転落が多い。
10～60 歳代では自殺の件数が最も多い。

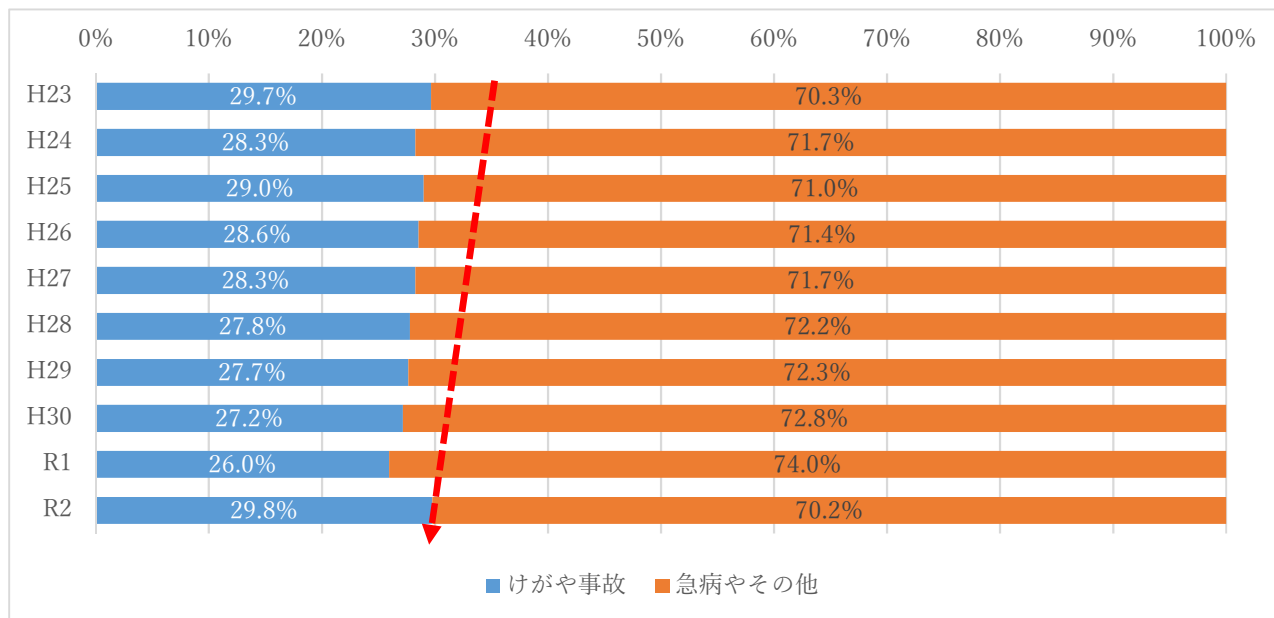


4 救急搬送に関するデータ(久留米交通事故域消防本部救急搬送データ)

(1) 外的要因(けがや事故)による搬送割合

7割以上が急病等による救急搬送である。

けがや事故による救急搬送割合は、R2は若干増加しているものの、減少傾向にある。



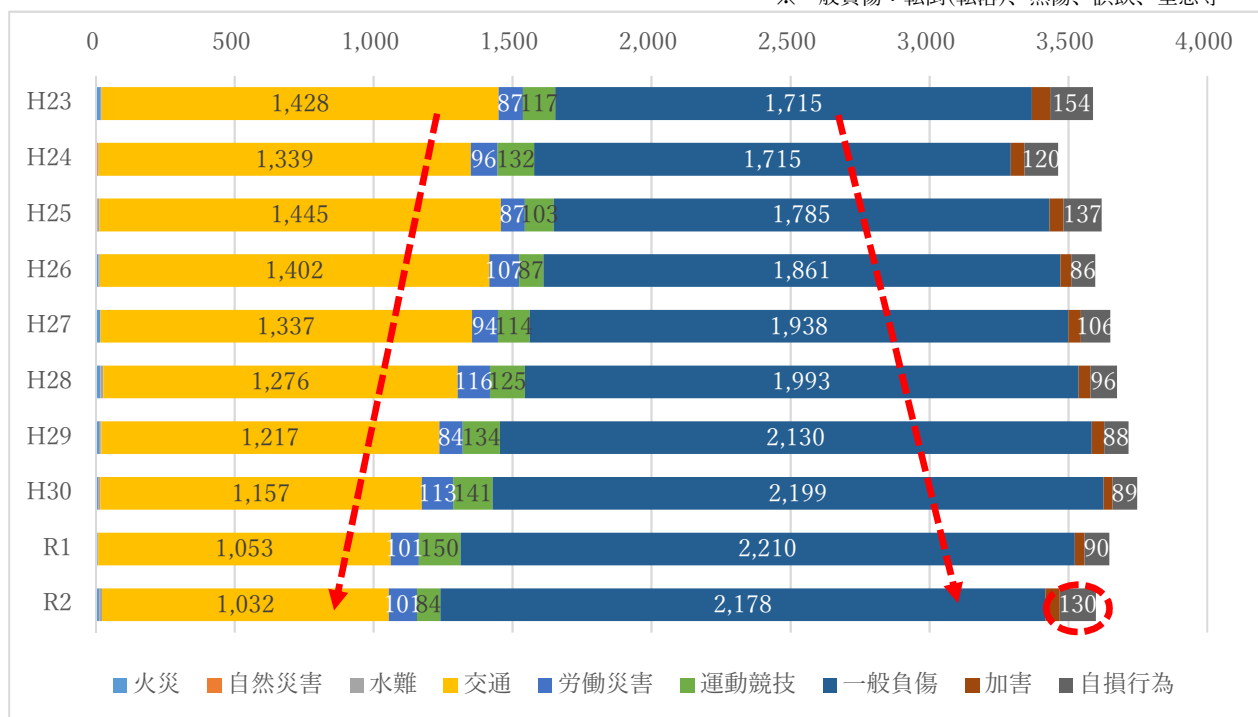
(2) 事故種別の搬送人数

一般負傷が最も多く、次いで交通事故が多い。

交通事故は減少傾向、一般負傷は増加傾向にある。

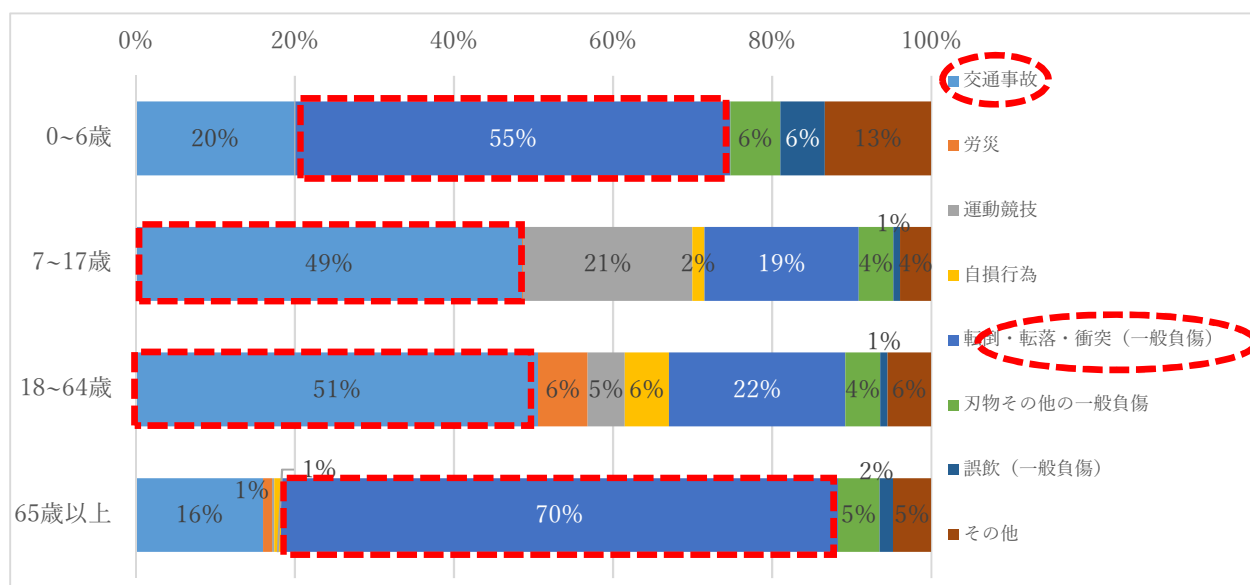
令和2年は、自損行為が急増した。

※一般負傷：転倒(転落)、熱傷、誤飲、窒息等



(3) 年齢層ごとの受傷原因 (H28～R2 までの5年間)

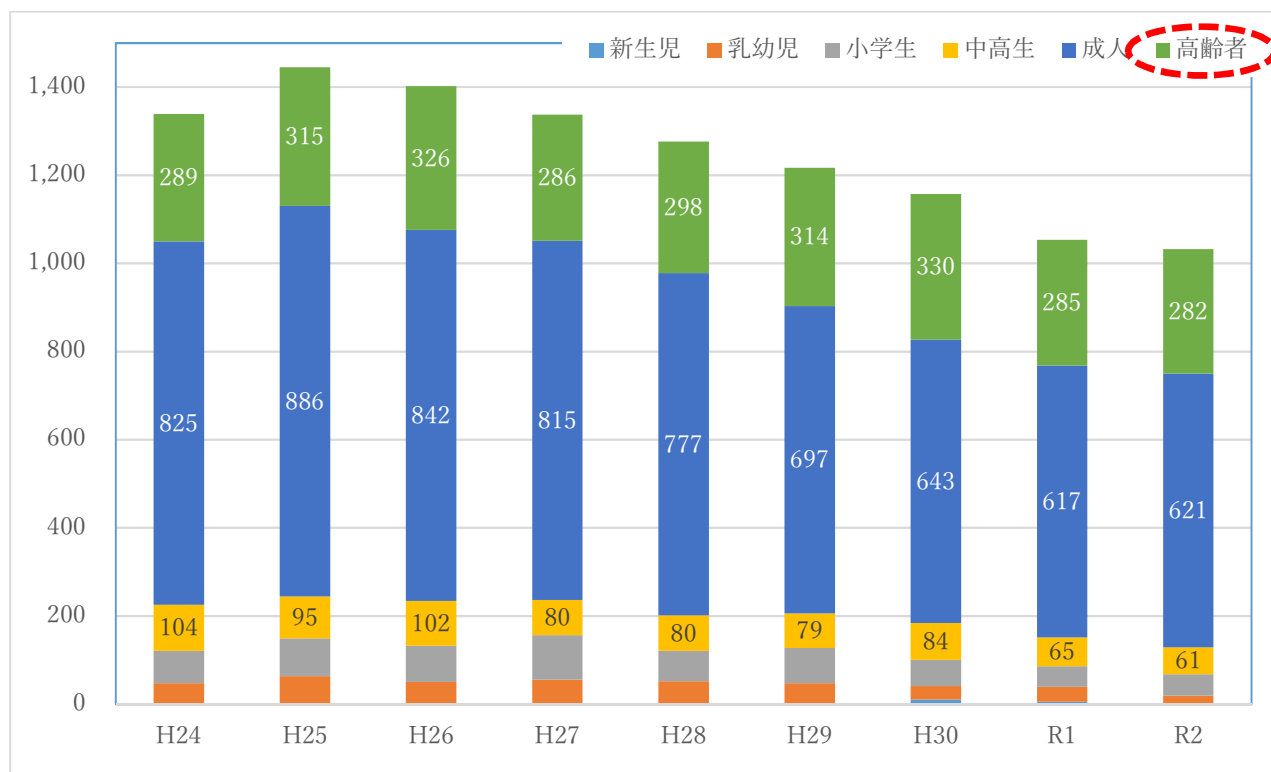
7～17歳と18～64歳では、「交通事故」の占める割合が約50%と高くなっている。また、0～6歳と65歳以上では、「転倒・転落」の占める割合が高く、特に65歳以上では、70%を占めている。



(4) 事故種別の年齢別内訳

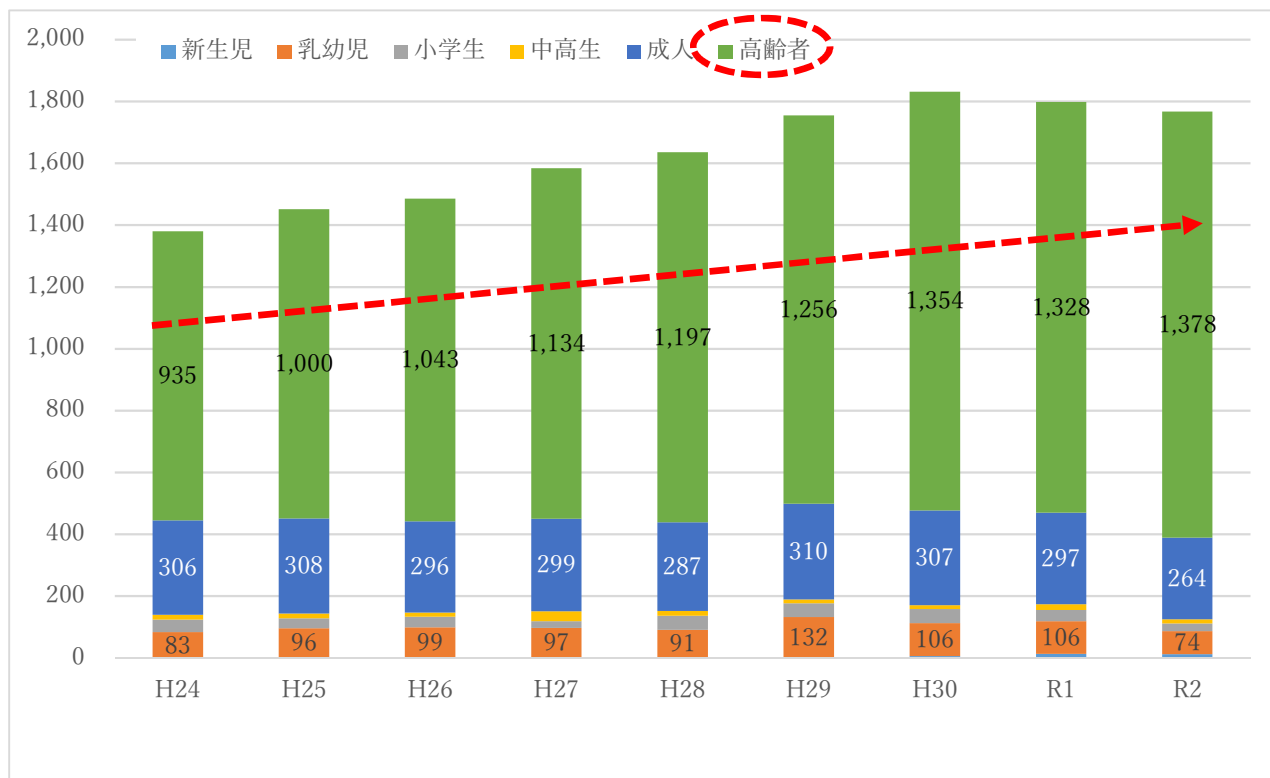
①交通

交通事故による救急搬送数は、全体的に減少傾向であるが、高齢者のみ横ばいである。



②転倒

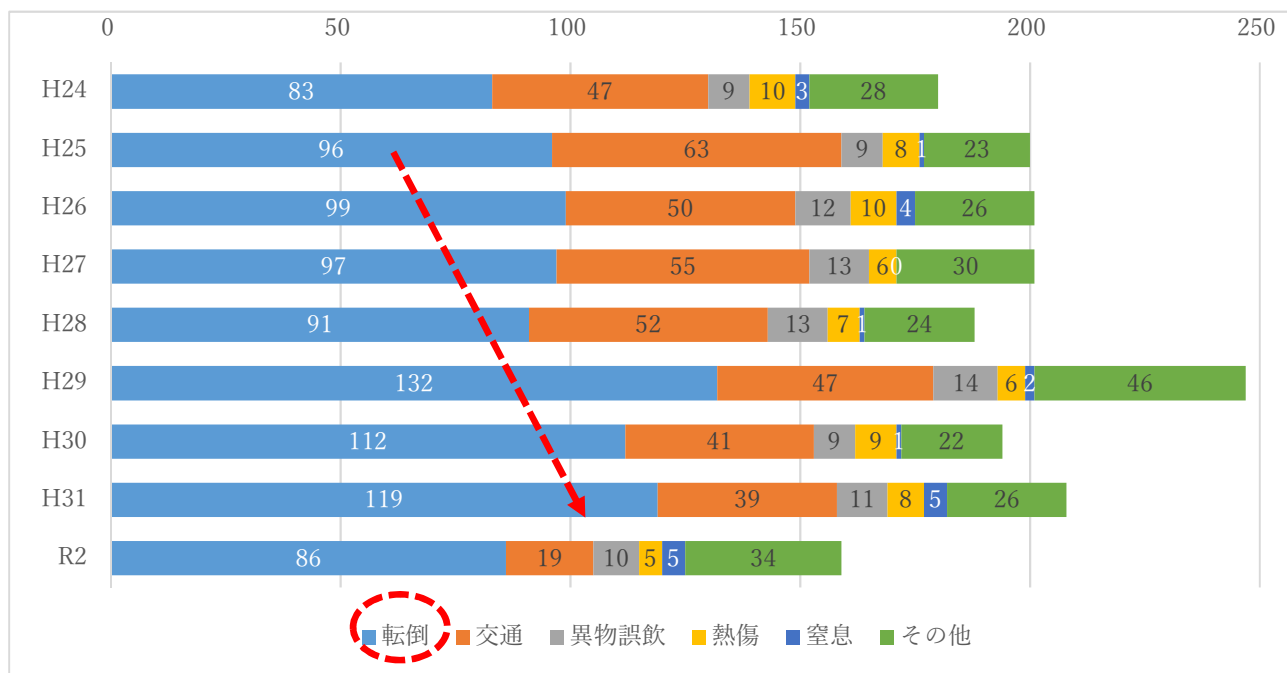
転倒による救急搬送数は、高齢者が増加傾向にある。



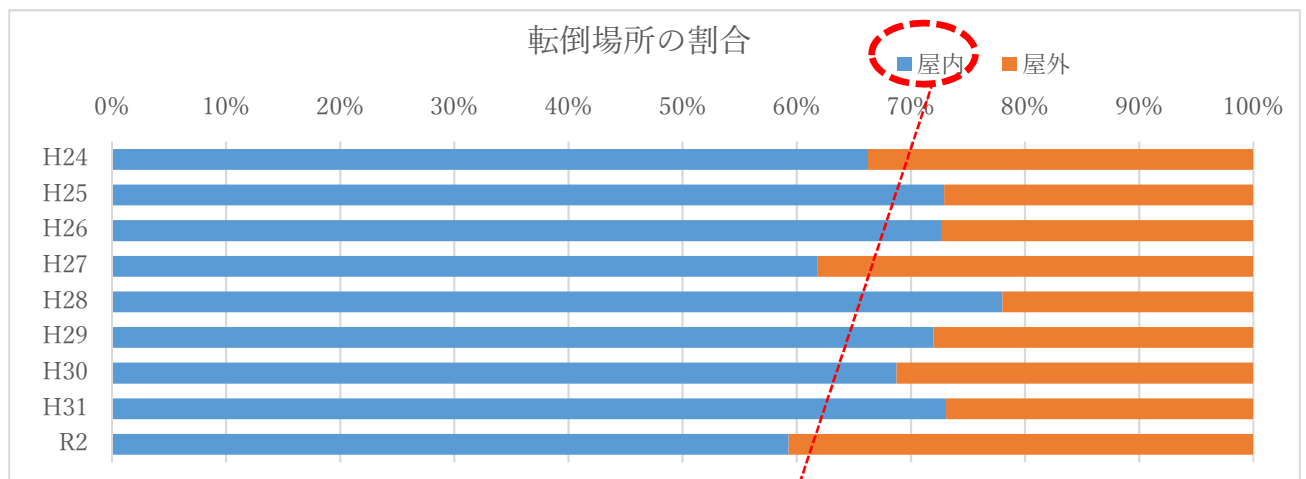
(5) 年齢別の事故種別内訳

① 乳幼児（0～6歳）

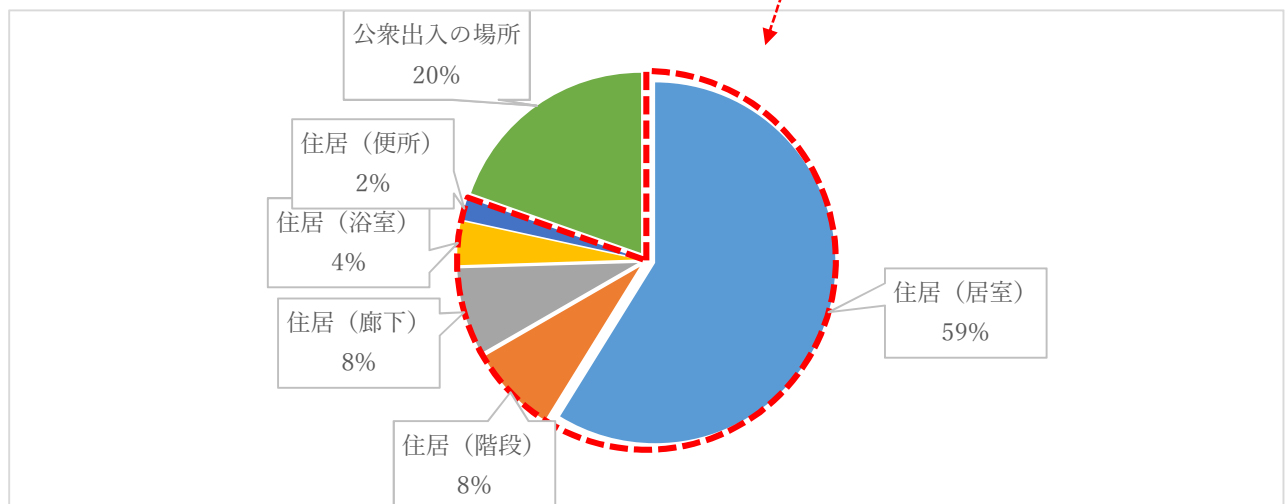
R2は減少しているものの、転倒による救急搬送が増加傾向にある。



転倒の場所は、60～70%前後が屋内である。

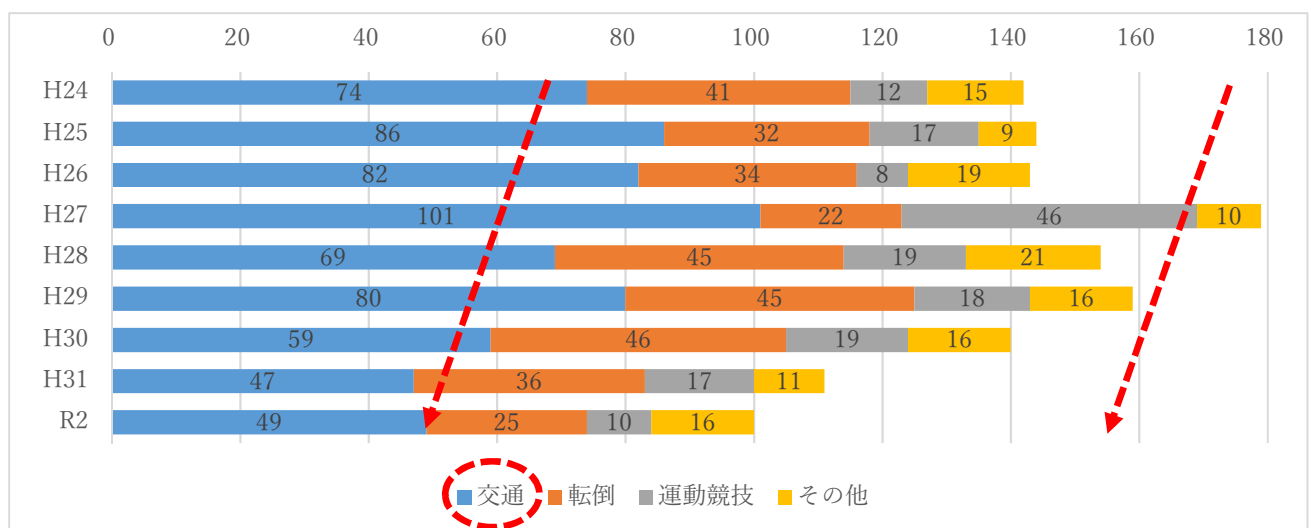


屋内での転倒場所のうち、8割が住居である。また、約6割が居室である。



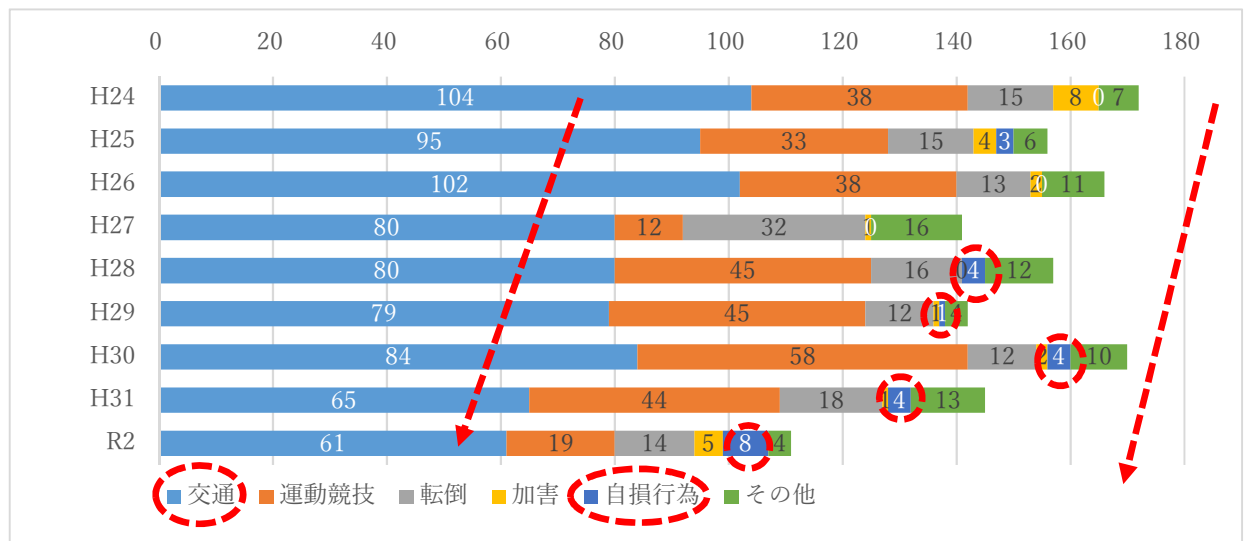
② 小学生

救急搬送総数は減少傾向にある。特に、交通事故による救急搬送が減少している。



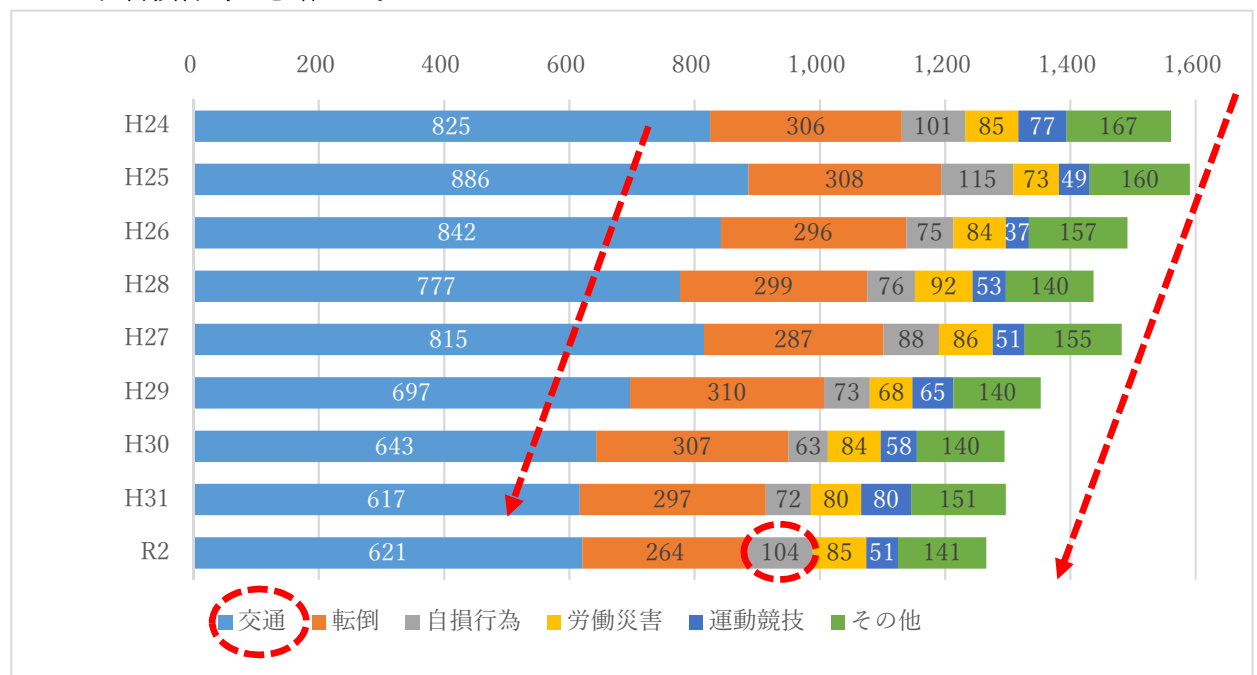
③ 中高生

救急搬送総数は減少傾向にある。特に、交通事故による救急搬送が減少している。
近年、自損行為により年間数件救急搬送されている。



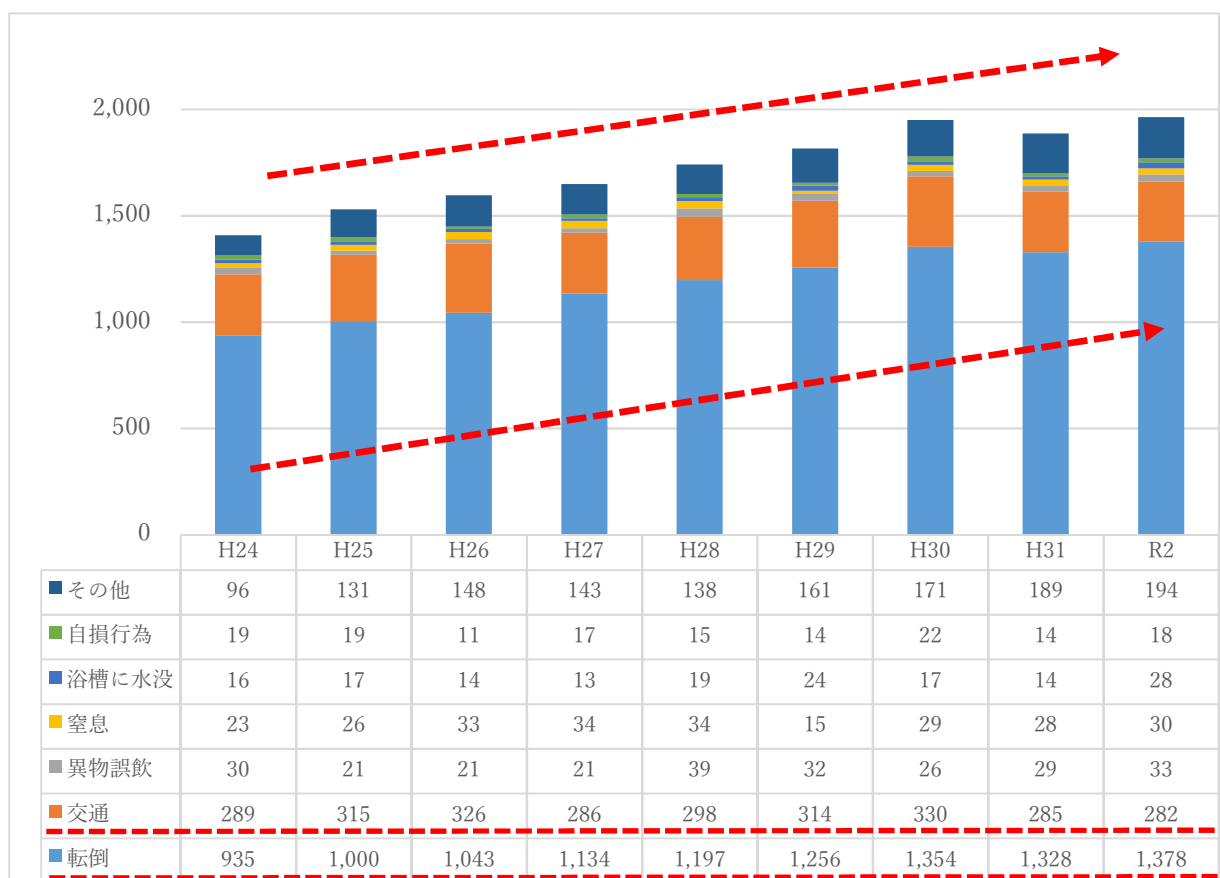
④ 成人（18～64歳）

救急搬送総数は減少傾向にある。特に、交通事故による救急搬送が減少している。
R2は、自損行為が急増した。

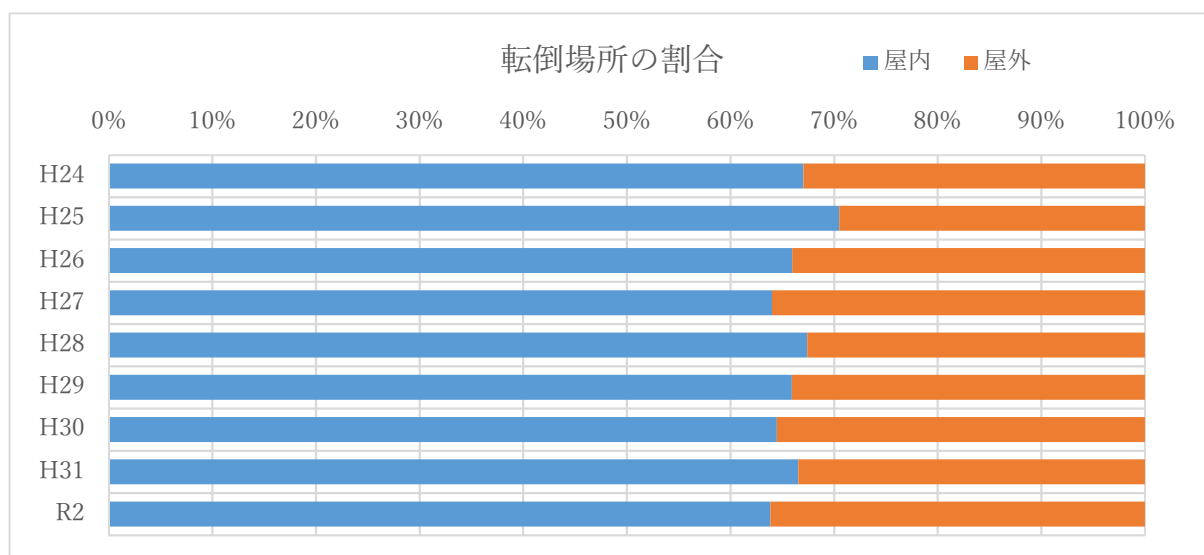


⑤ 高齢者（65歳以上）

救急搬送総数は増加傾向にある。特に、転倒による救急搬送が増加している。また、交通事故による救急搬送は横ばいである。

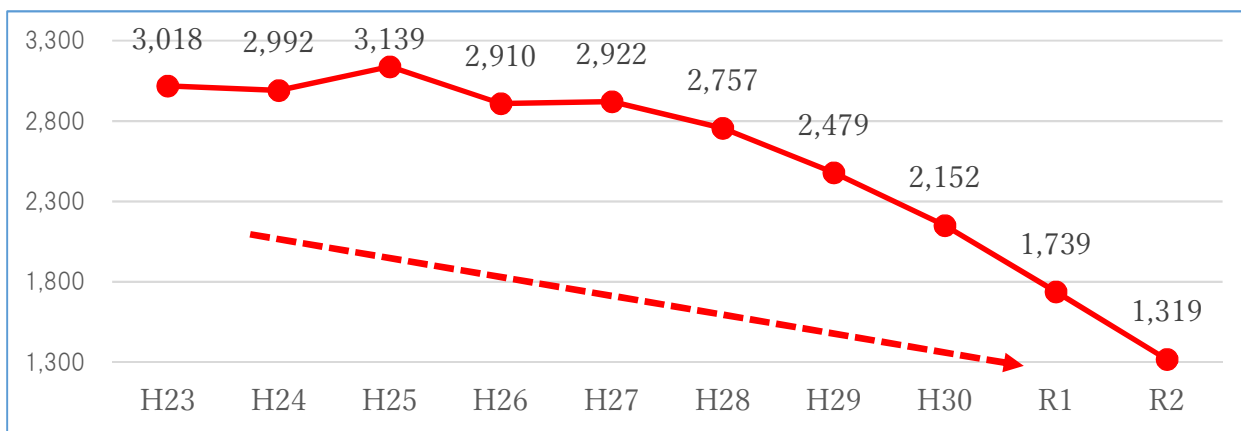


転倒の場所は、60～70%が屋内である。

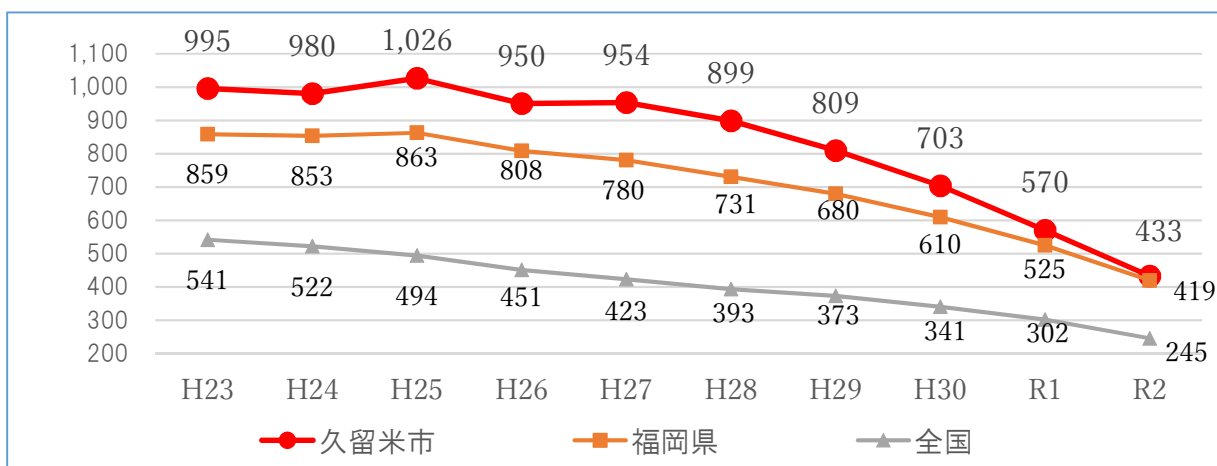


5 交通事故に関する状況（警察統計）

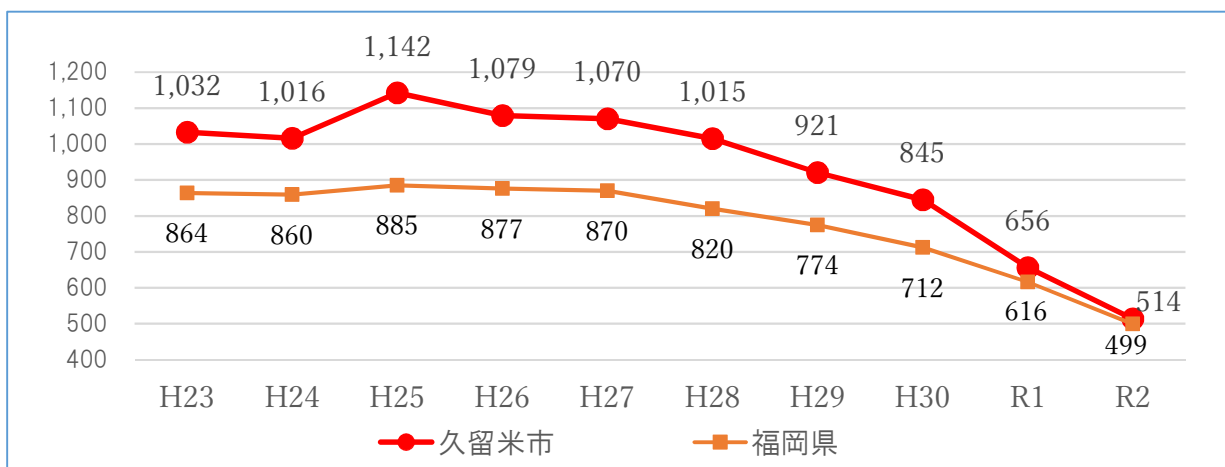
（１）交通事故発生件数（久留米市）



（２）人口10万人あたりの交通事故発生件数

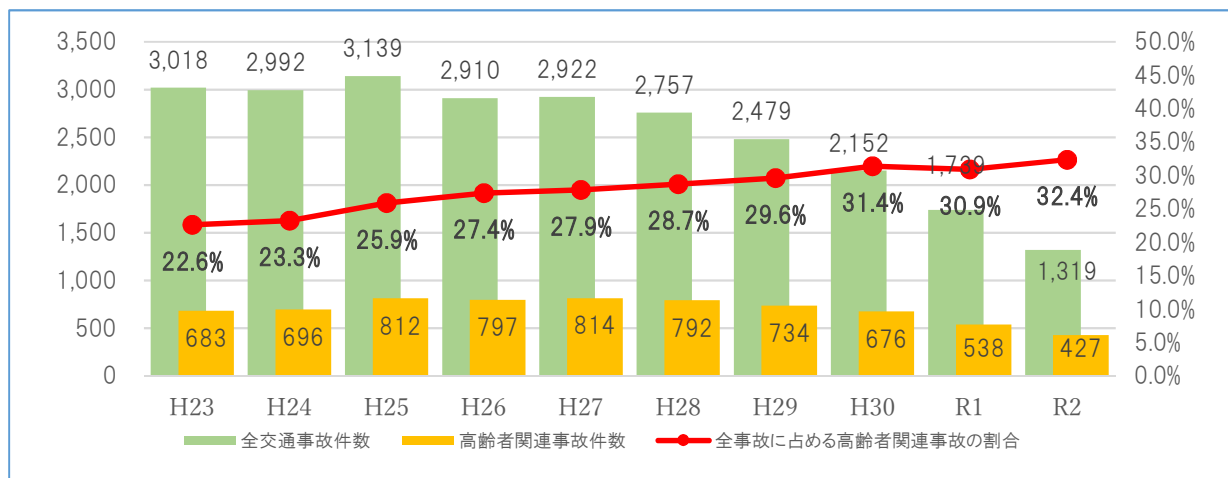


（３）高齢者人口10万人あたりの高齢者関連交通事故発生件数

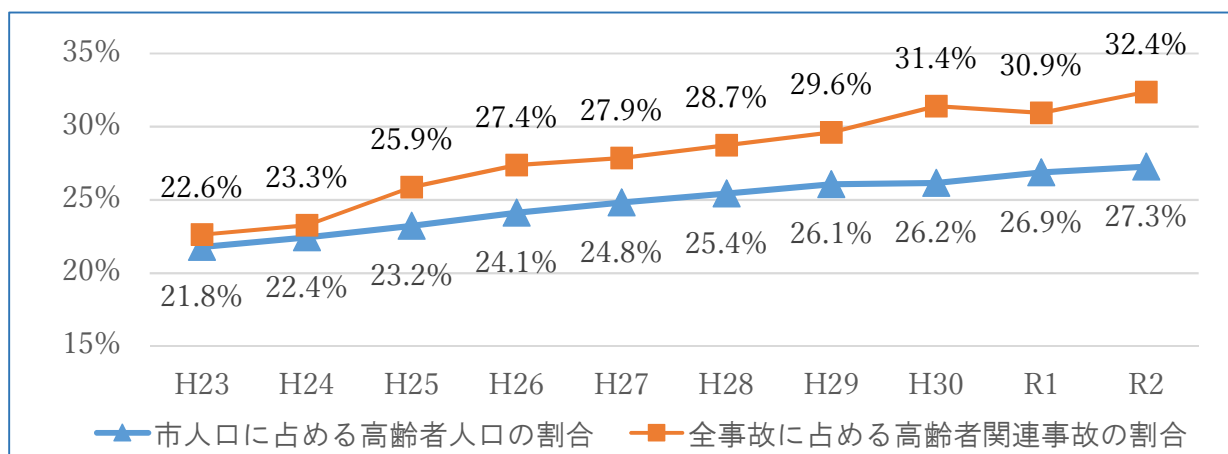


(4) 全交通事故に占める高齢者関連事故の割合

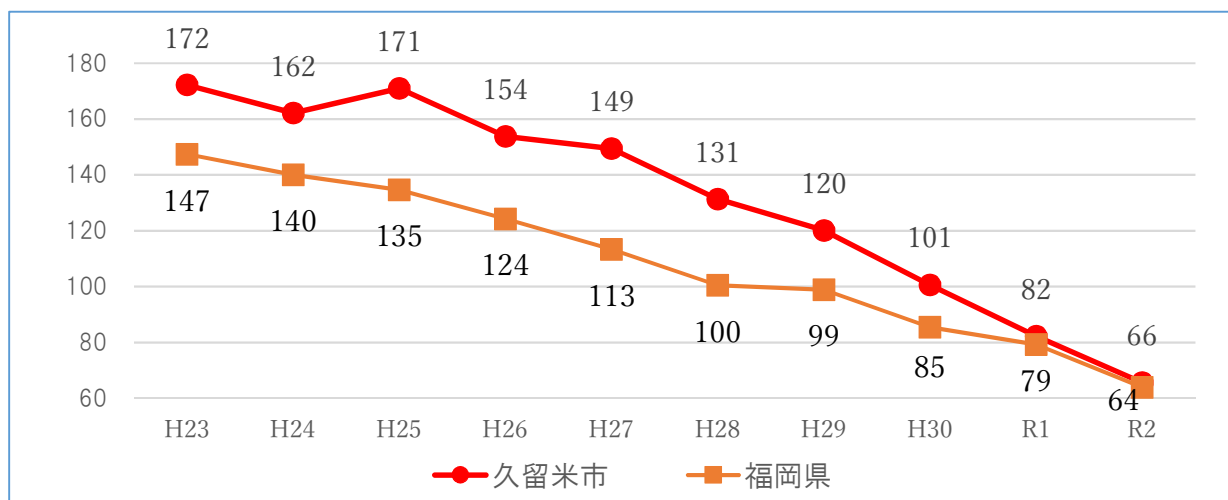
全交通事故は減少しているが、高齢者関連事故の割合は増加している。



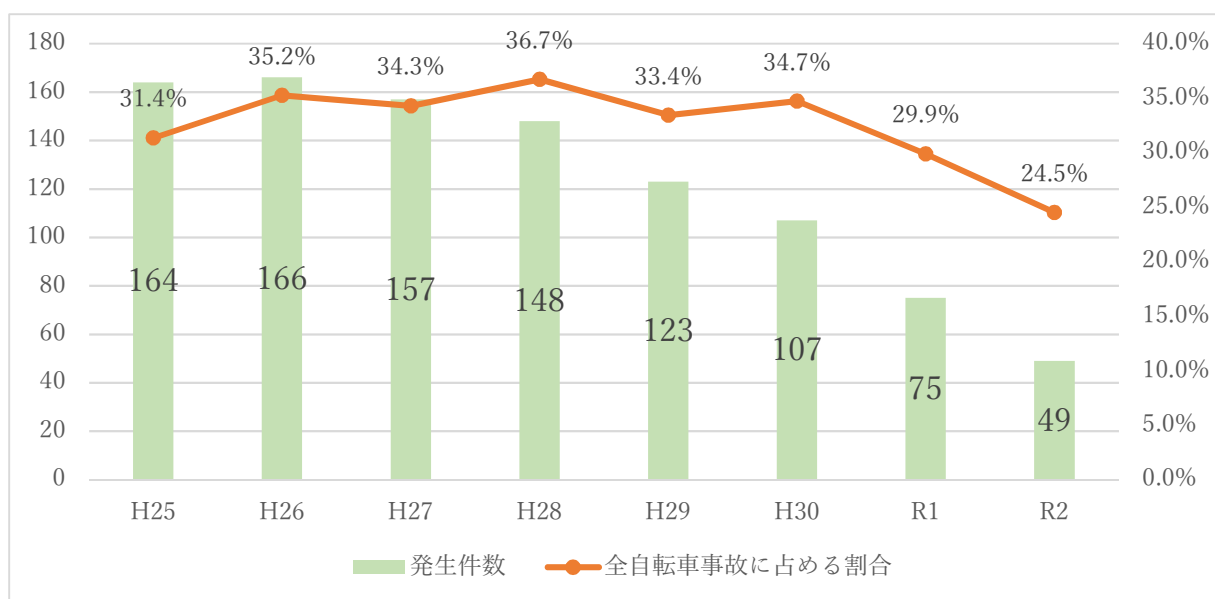
(5) 高齢者の人口と交通事故の割合



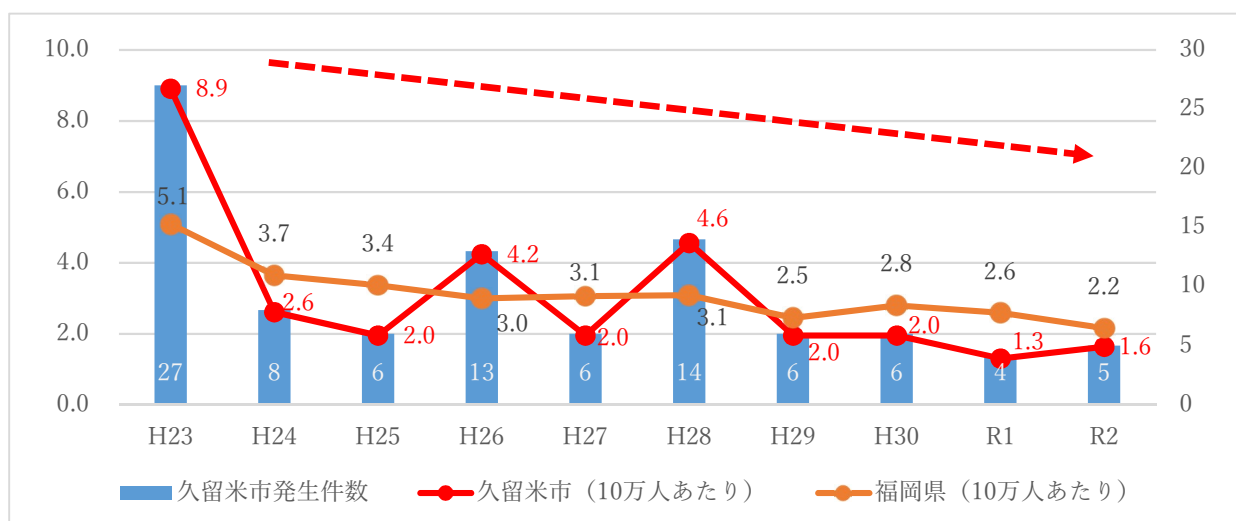
(6) 人口10万人あたりの自転車関連交通事故発生件数



(7) 10代の自転車関連事故発生件数及び全自転車事故に対する割合。



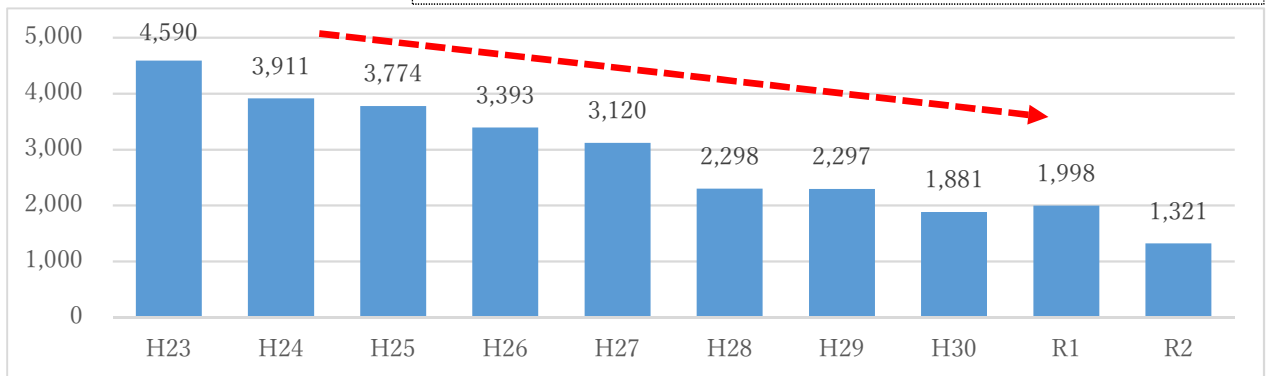
(8) 飲酒運転交通事故発生件数



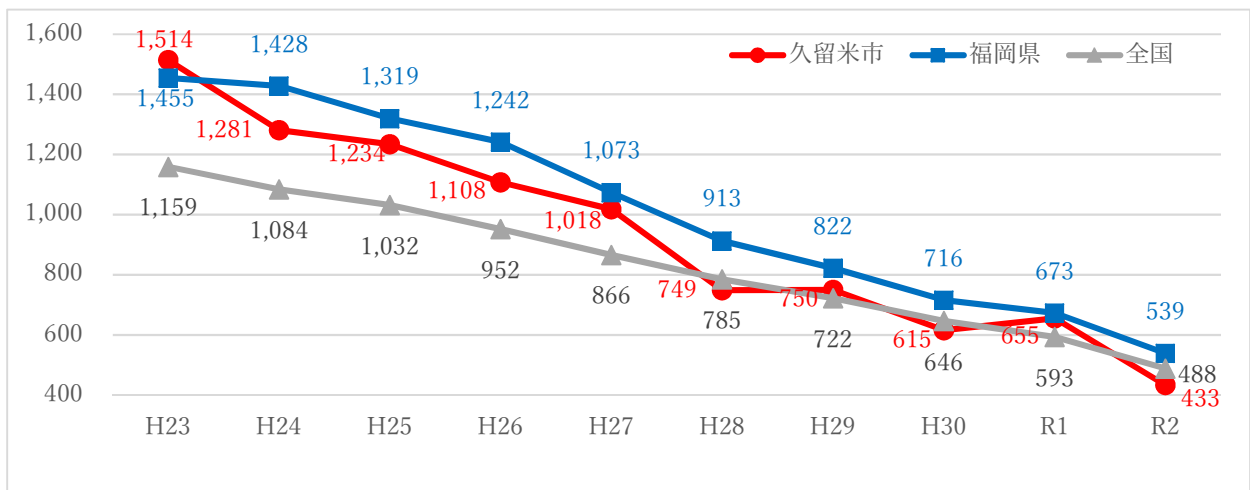
6 犯罪に関する状況（警察統計）

（１）一般刑法犯認知件数

一般刑法犯：刑法犯から、交通事故によって人を死傷させて過失犯を除いたもの

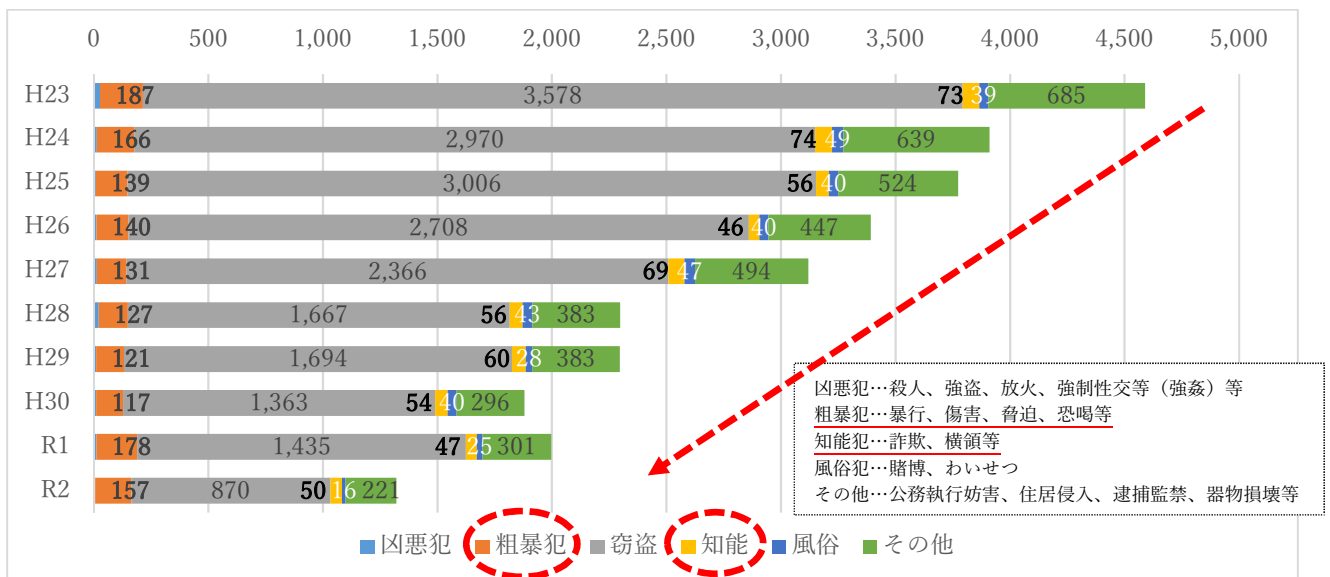


（２）人口10万人あたりの一般刑法犯認知件数



（３）犯罪種別認知件数

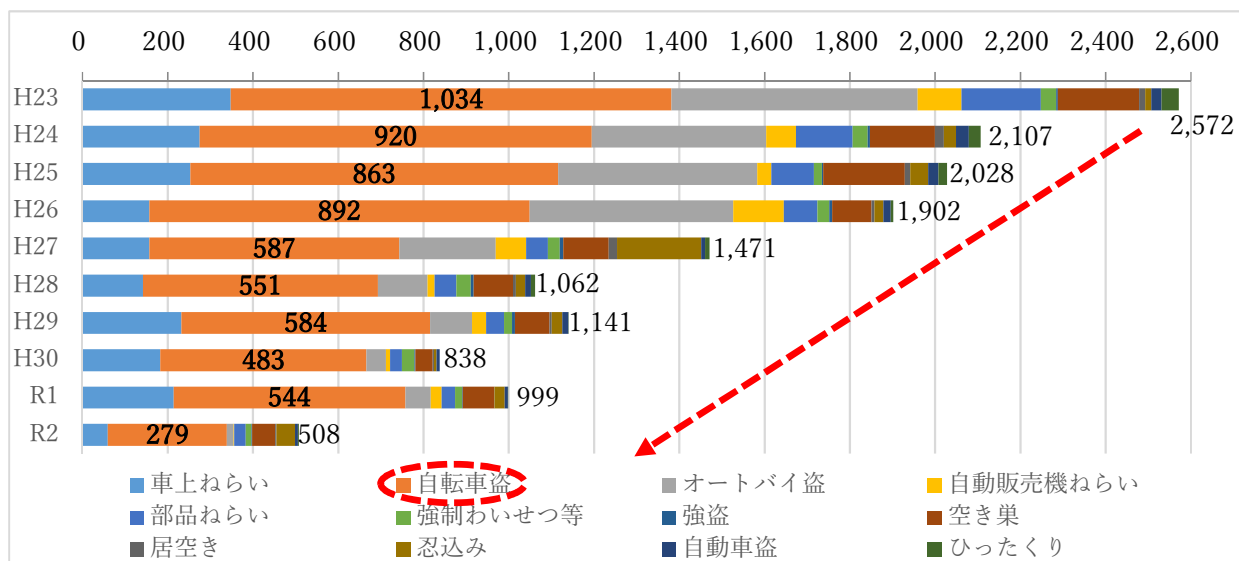
全体的に減少傾向にあるが、粗暴犯及び知能犯は減少傾向とは言えない。



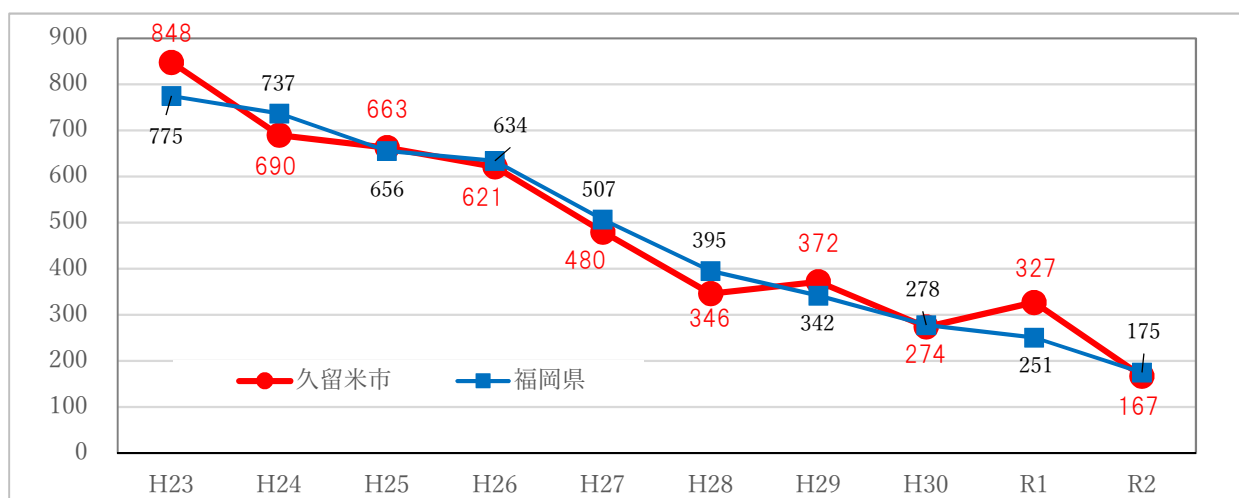
(4) 街頭犯罪認知件数

自転車盗が一番多い。

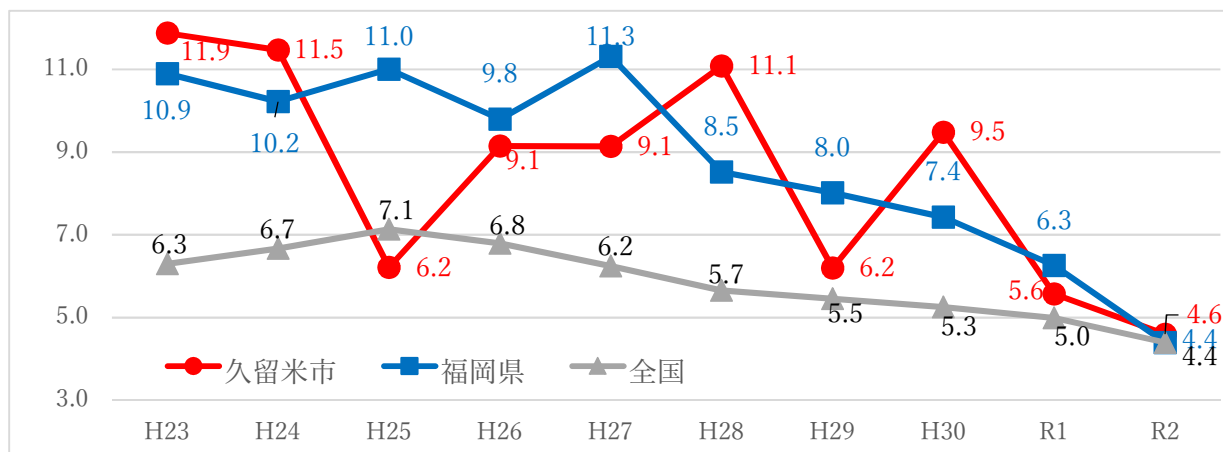
街頭犯罪…身のまわりで発生しやすい犯罪の総称



(5) 人口10万人あたりの街頭犯罪発生状況



(6) 人口10万人あたりの性犯罪の認知件数



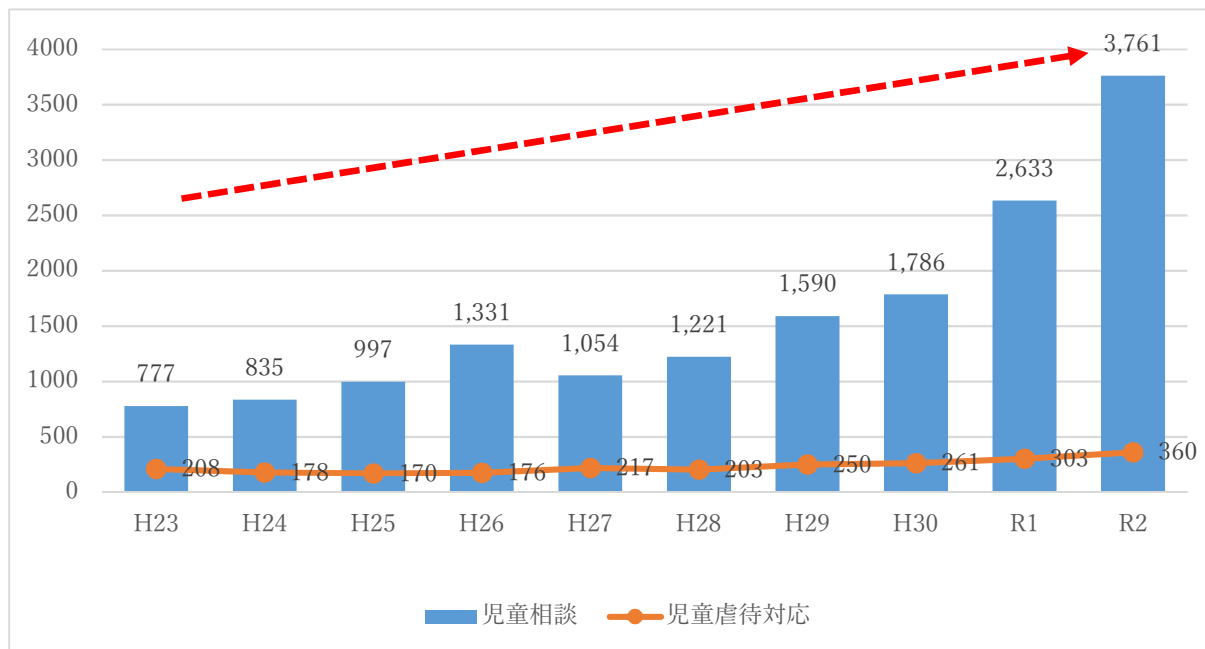
(7) 校区別犯罪認知件数の状況

校区名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H23-R2年対比	
											差引	増減率%
西国分	248	199	199	155	131	106	98	80	84	53	▲ 195	▲ 79
莊島	65	68	57	56	48	32	34	25	32	15	▲ 50	▲ 77
日吉	323	285	254	252	257	240	245	211	218	108	▲ 215	▲ 67
篠山	98	131	125	89	103	75	63	72	62	35	▲ 63	▲ 64
京町	67	61	56	74	54	49	35	35	30	19	▲ 48	▲ 72
南薫	262	213	248	175	225	139	124	117	140	65	▲ 197	▲ 75
鳥飼	145	142	126	122	108	96	110	79	59	46	▲ 99	▲ 68
長門石	87	71	68	58	43	42	28	21	29	11	▲ 76	▲ 87
小森野	54	45	67	39	28	40	32	20	22	16	▲ 38	▲ 70
金丸	324	246	252	185	191	131	120	88	145	74	▲ 250	▲ 77
東国分	185	113	94	128	104	106	70	71	85	47	▲ 138	▲ 75
南	212	205	174	137	102	104	82	57	86	48	▲ 164	▲ 77
御井	240	225	222	248	157	145	138	123	108	69	▲ 171	▲ 71
山川	78	59	56	49	49	35	23	29	37	25	▲ 53	▲ 68
合川	506	443	439	444	316	242	270	202	246	126	▲ 380	▲ 75
上津	312	225	257	215	196	146	174	138	102	102	▲ 210	▲ 67
高良内	83	66	52	55	26	30	32	19	14	19	▲ 64	▲ 77
宮ノ陣	100	115	103	113	77	44	58	30	30	28	▲ 72	▲ 72
山本	25	16	32	24	49	10	15	7	6	10	▲ 15	▲ 60
草野	13	16	24	21	16	6	8	9	4	2	▲ 11	▲ 85
荒木	193	130	122	76	108	59	62	55	64	40	▲ 153	▲ 79
大善寺	190	121	63	60	43	27	53	45	39	25	▲ 165	▲ 87
安武	64	46	34	27	31	26	32	13	16	22	▲ 42	▲ 66
善導寺	82	63	79	67	105	30	20	31	24	28	▲ 54	▲ 66
大橋	15	4	9	10	12	6	3	4	6	6	▲ 9	▲ 60
青峰	38	19	22	19	10	9	11	7	4	8	▲ 30	▲ 79
津福	184	179	134	104	91	70	75	46	77	54	▲ 130	▲ 71
田主丸	44	62	58	63	38	35	47	19	15	16	▲ 28	▲ 64
水分	14	12	21	10	13	6	6	9	2	9	▲ 5	▲ 36
川会	13	19	12	14	7	9	2	8	1	11	▲ 2	▲ 15
柴刈	8	5	15	13	9	9	4	4	3	9	1	13
船越	13	12	13	7	8	2	5	6	11	10	▲ 3	▲ 23
竹野	10	17	10	14	2	7	8	7	1	2	▲ 8	▲ 80
水縄	9	11	16	9	9	9	11	10	3	7	▲ 2	▲ 22
北野	41	45	35	21	27	24	18	19	26	20	▲ 21	▲ 51
弓削	24	21	16	15	21	13	6	4	3	12	▲ 12	▲ 50
大城	16	26	12	18	13	11	8	9	10	9	▲ 7	▲ 44
金島	13	16	7	5	9	6	4	2	3	5	▲ 8	▲ 62
城島	44	25	26	45	61	23	36	24	23	22	▲ 22	▲ 50
下田	7	2	2	8	18	1	3	1	1	2	▲ 5	▲ 71
青木	15	14	25	23	20	11	9	24	11	8	▲ 7	▲ 47
浮島	1	2	6	6	3	1	2		3	1	0	0
江上	22	21	23	27	34	9	17	16	14	8	▲ 14	▲ 64
犬塚	38	44	41	40	93	42	56	39	40	34	▲ 4	▲ 11
三湊	53	38	44	29	33	16	28	22	30	19	▲ 34	▲ 64
西牟田	12	10	23	20	19	15	4	17	20	13	1	8
計	4,590	3,908	3,773	3,389	3,117	2,294	2,289	1,874	1,989	1,318	▲ 3,272	▲ 71

7 児童相談に関する状況（家庭子ども相談課集計）

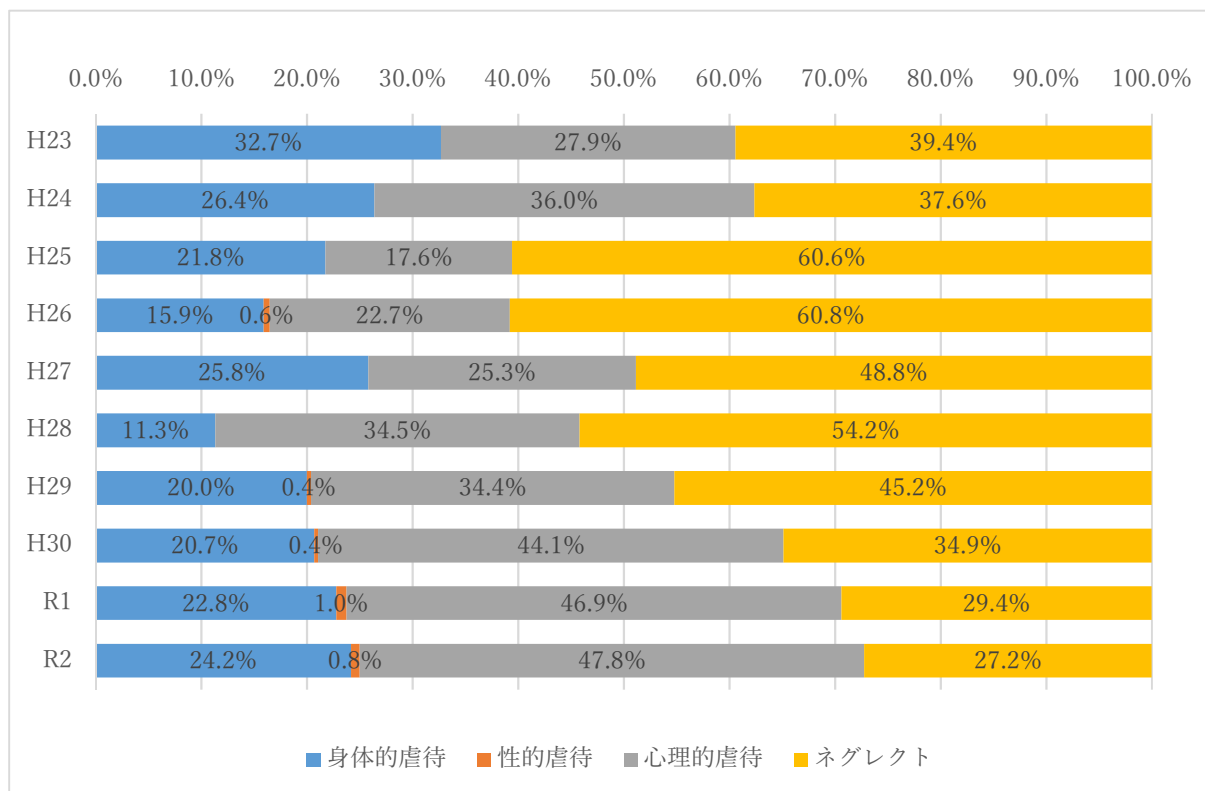
（１）児童相談件数の推移

児童相談、児童虐待対応件数ともに増加傾向にある。



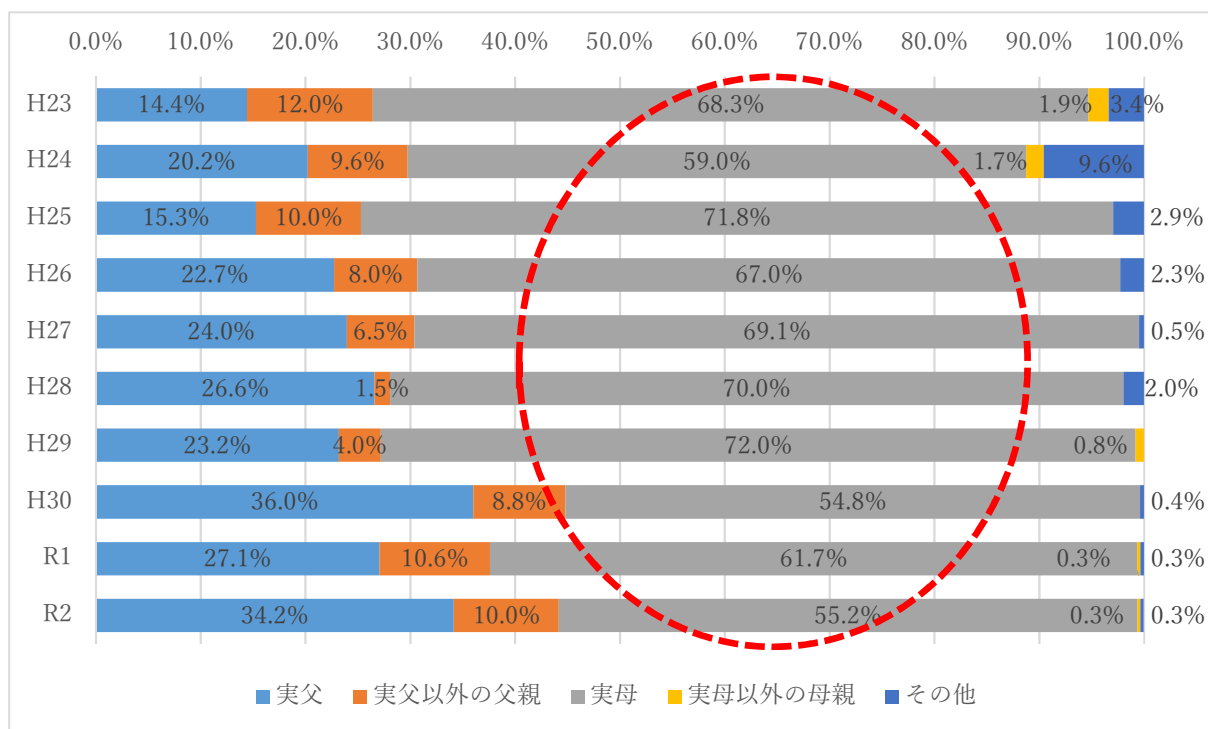
（２）虐待の種類別割合

近年、身体的虐待、心理的虐待の割合は増加傾向、ネグレクトの割合は減少傾向にある。

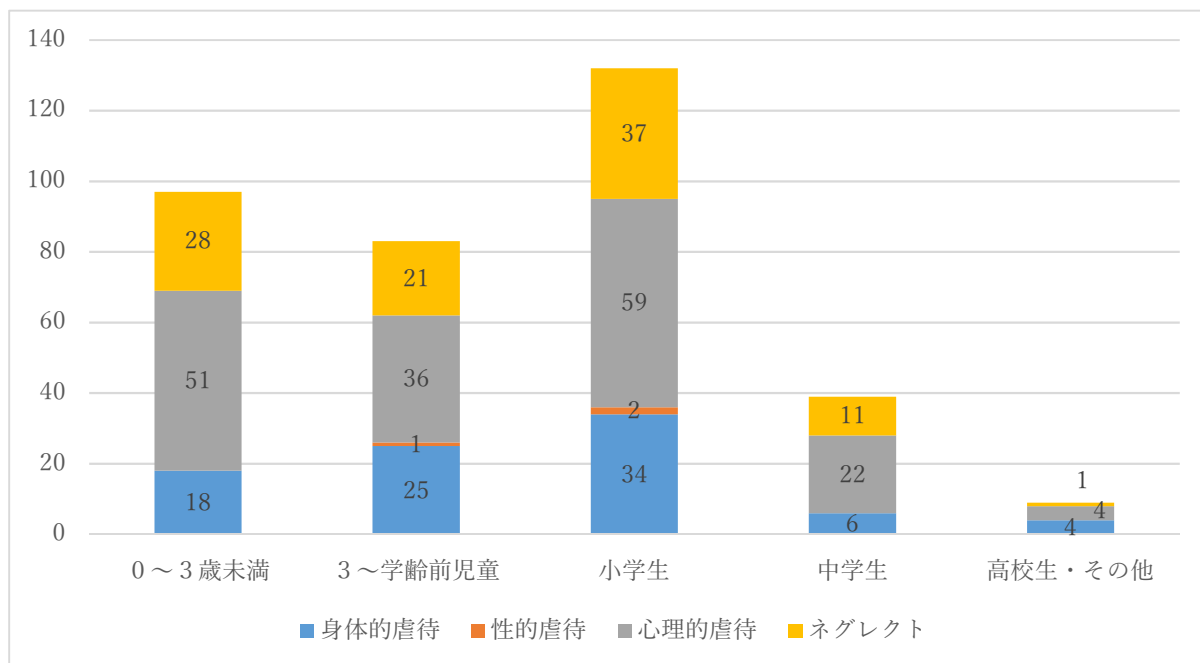


(3) 虐待者別割合

虐待者の約6割が実母によるものである。

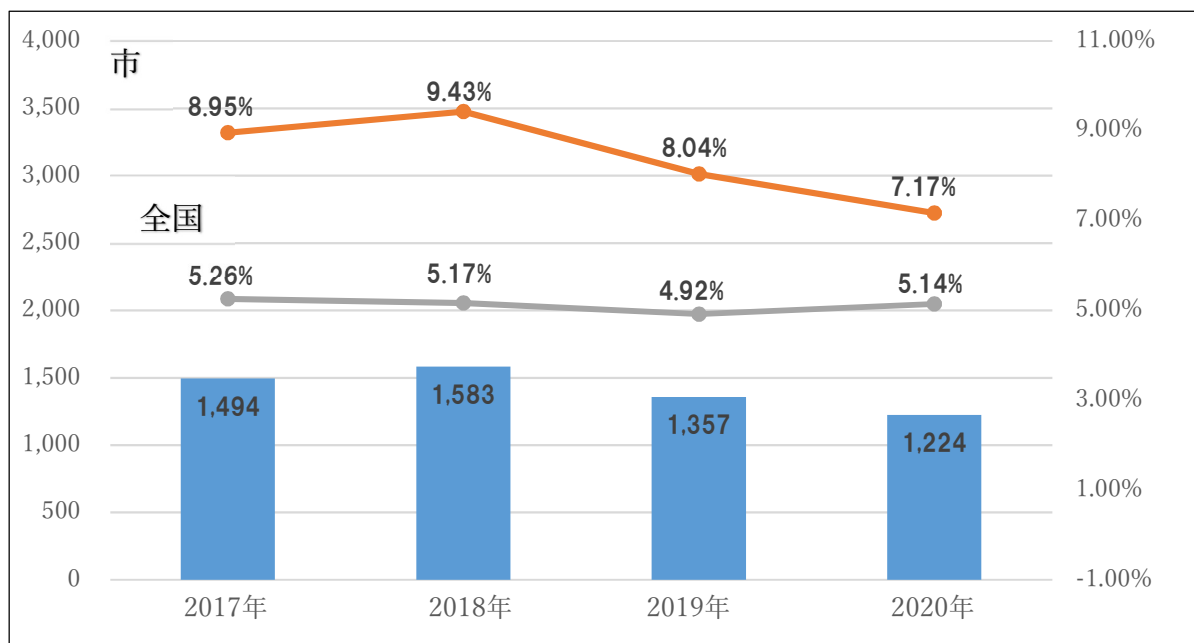


(4) 虐待の種類別・年齢別対応件数 (R2)

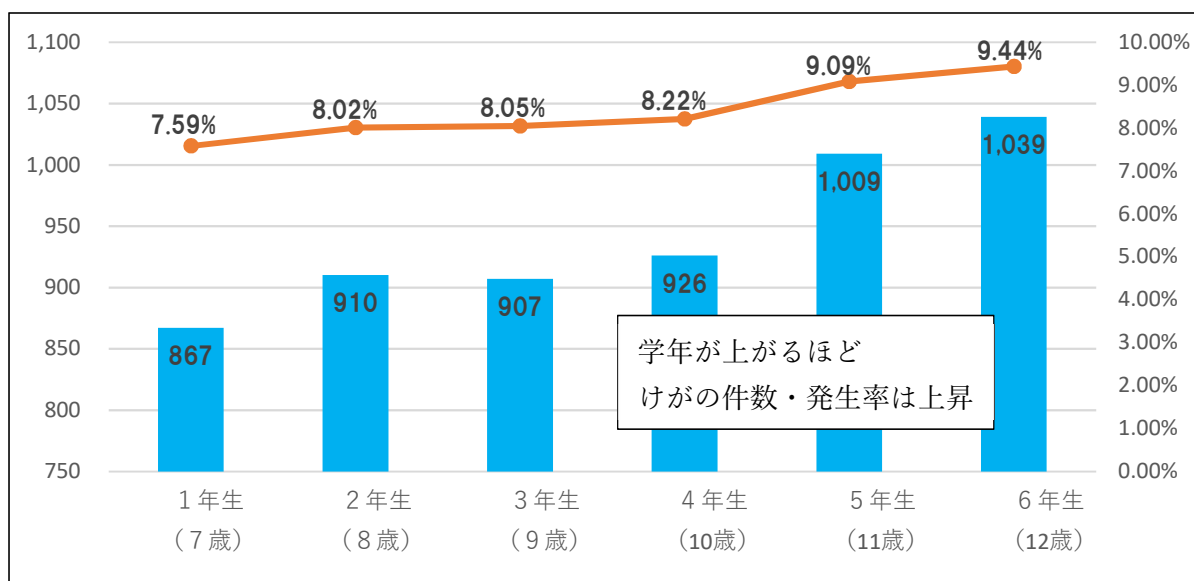


8 児童のけがに関する状況（日本スポーツ振興センター災害給付データ）

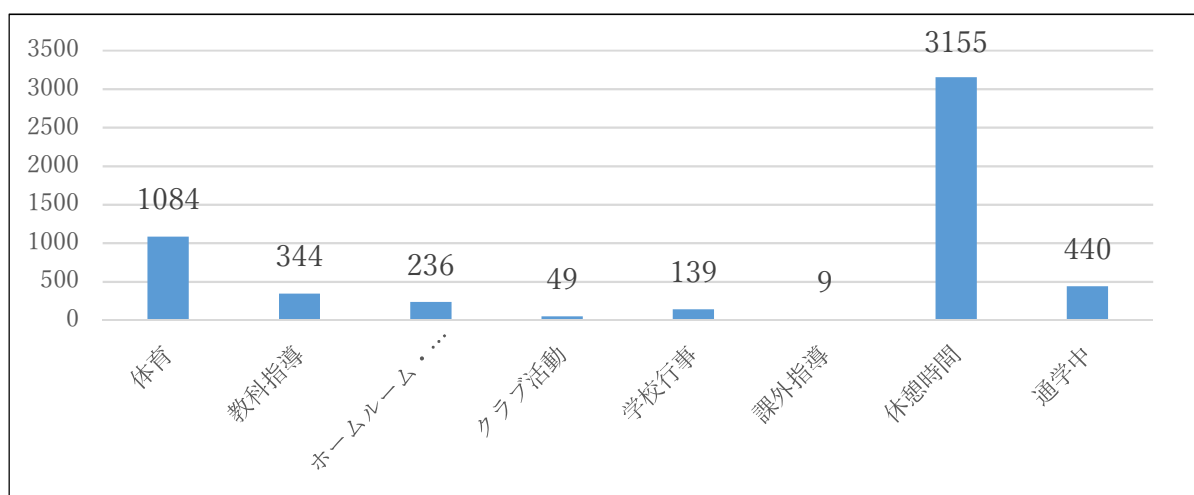
（１）小学校におけるけがの発生件数と発生率（けがの発生件数／児童数）



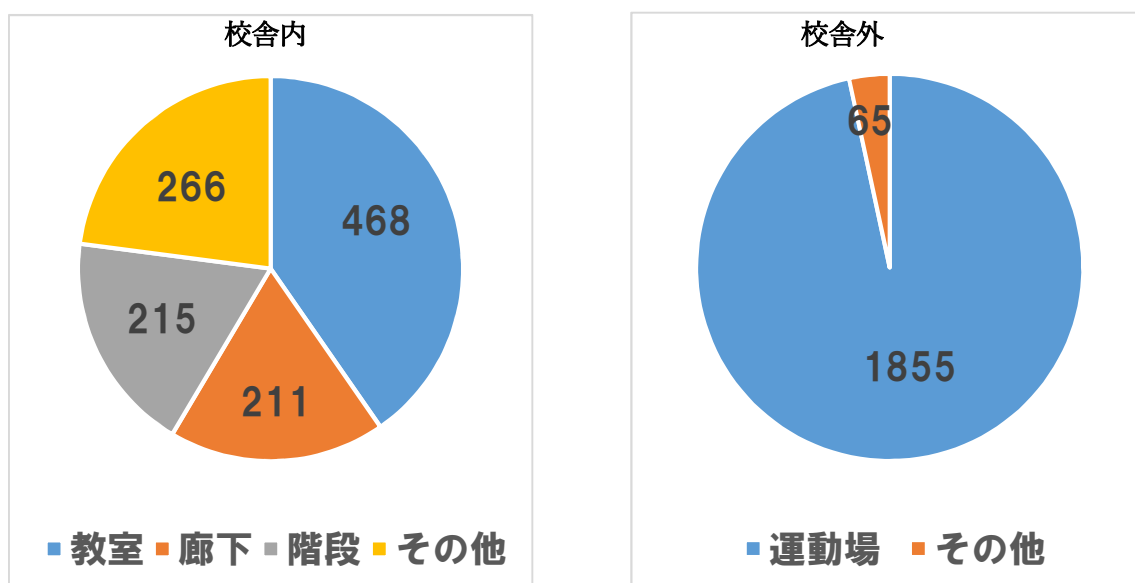
（２）小学校における学年別のけがの発生件数と発生率（H29～R2 累計）



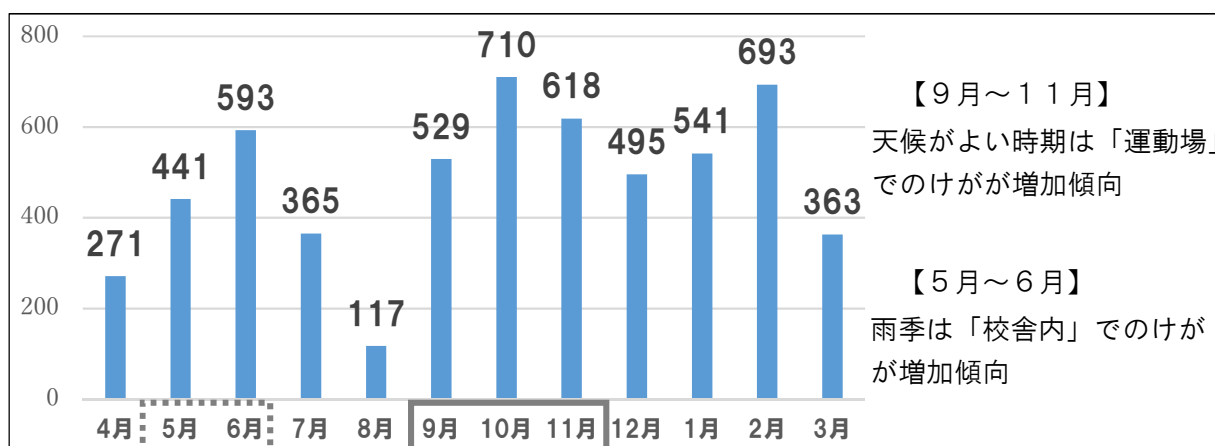
(3) 小学校におけるけが発生時の状況 (H29～R2 累計)



(4) 小学校の休憩時間中のけがの発生場所 (H29～R2 累計)



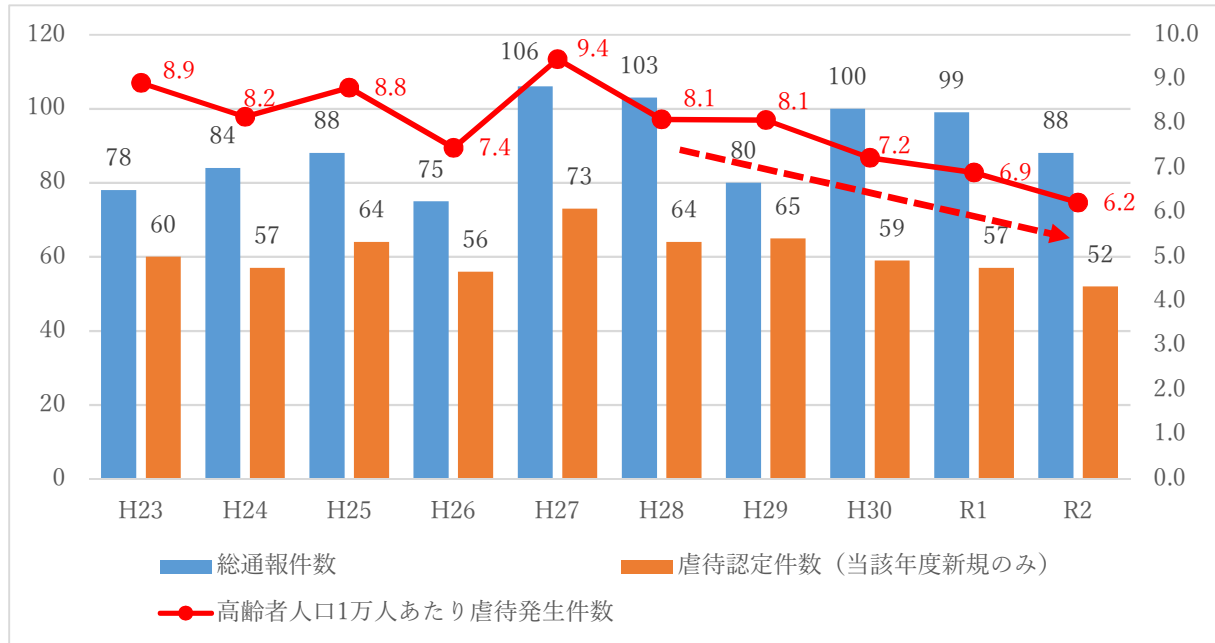
(5) 小学校における月別のけが発生件数 (H29～R2 累計)



9 高齢者虐待に関する状況（長寿支援課集計）

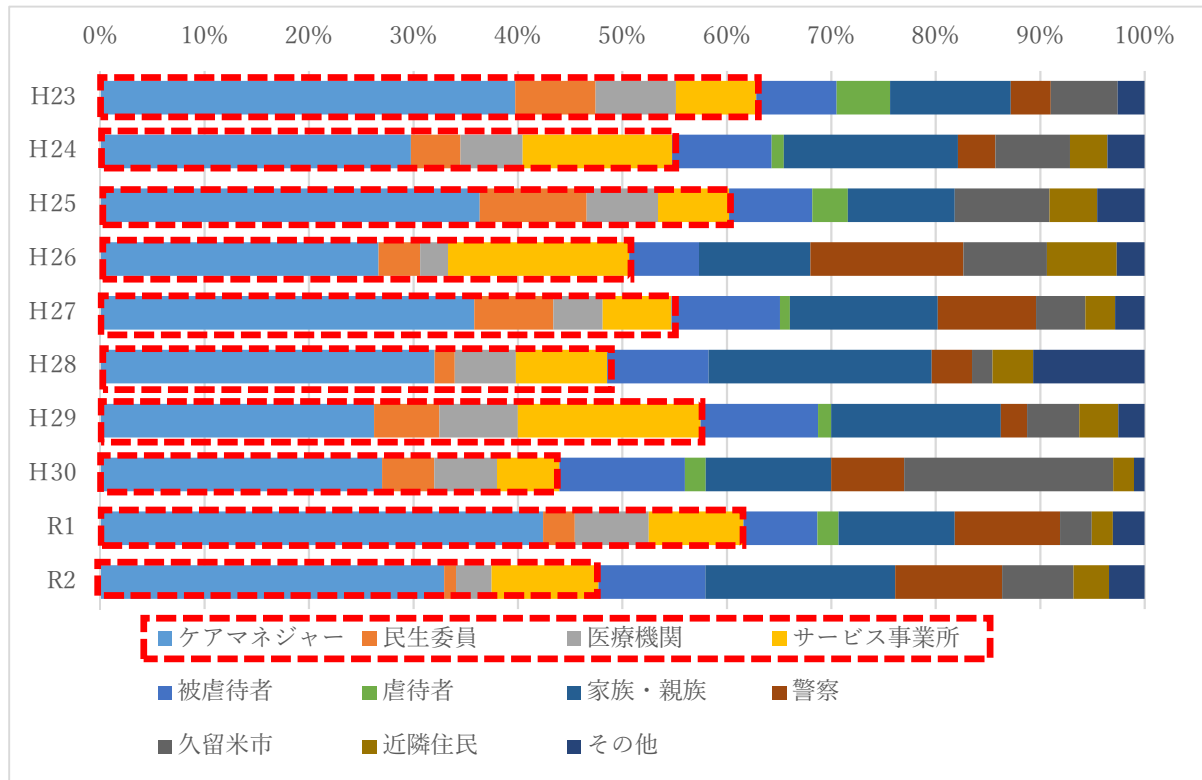
（１）高齢者虐待に関する相談件数と認定件数

近年、虐待認定件数は減少傾向にある。



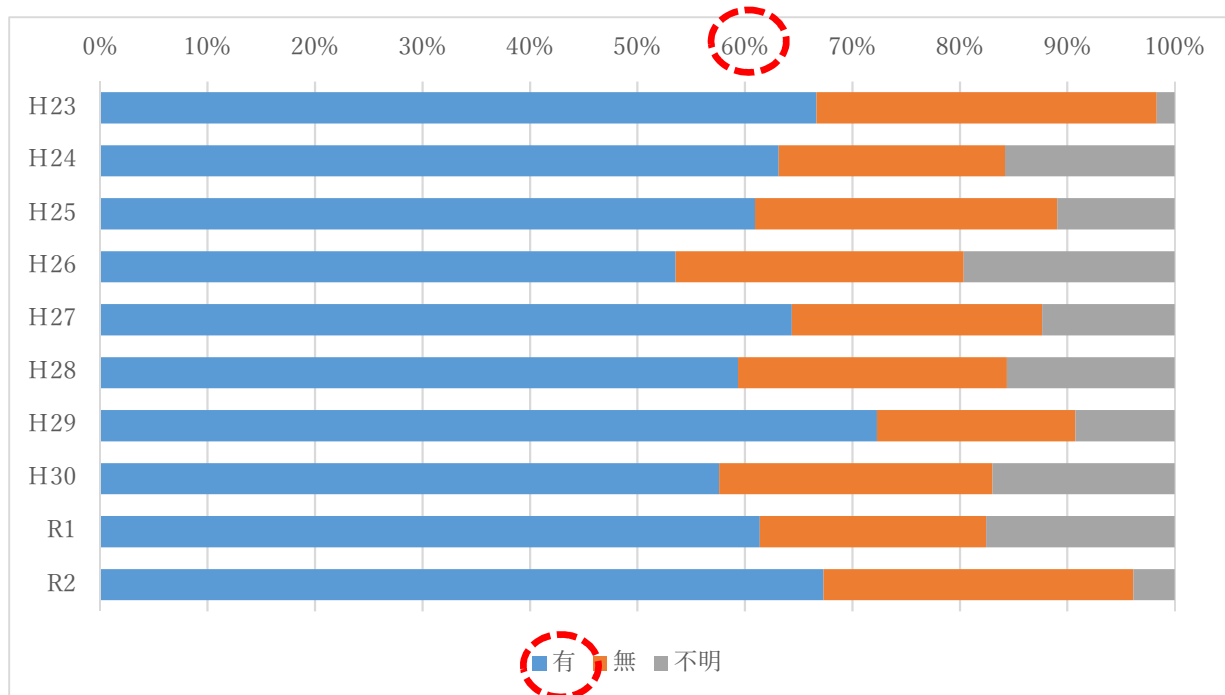
（２）経路別の相談・通報件数の割合

相談・通報の約 5 割が、ケアマネジャーや民生委員など地域の関係者からの通報によるものである。



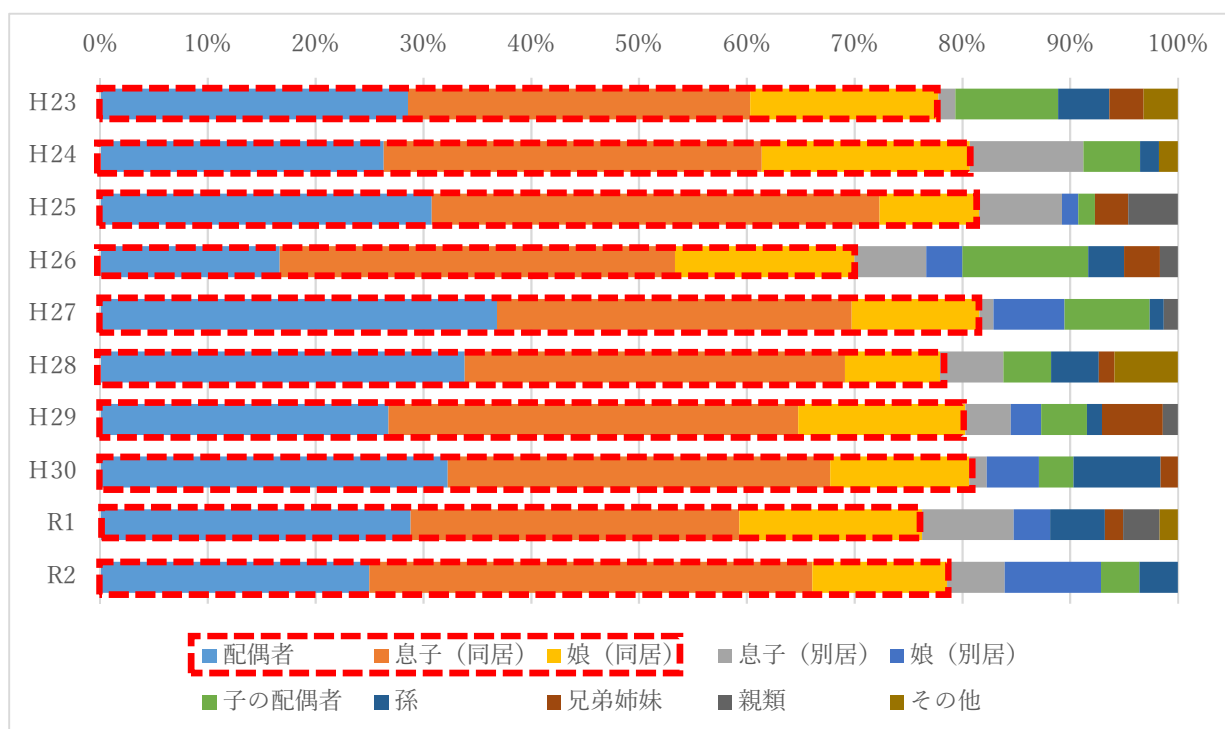
(3) 被虐待者の認知症の割合

被虐待者の約 6 割に認知症の症状がある。



(4) 虐待者の割合

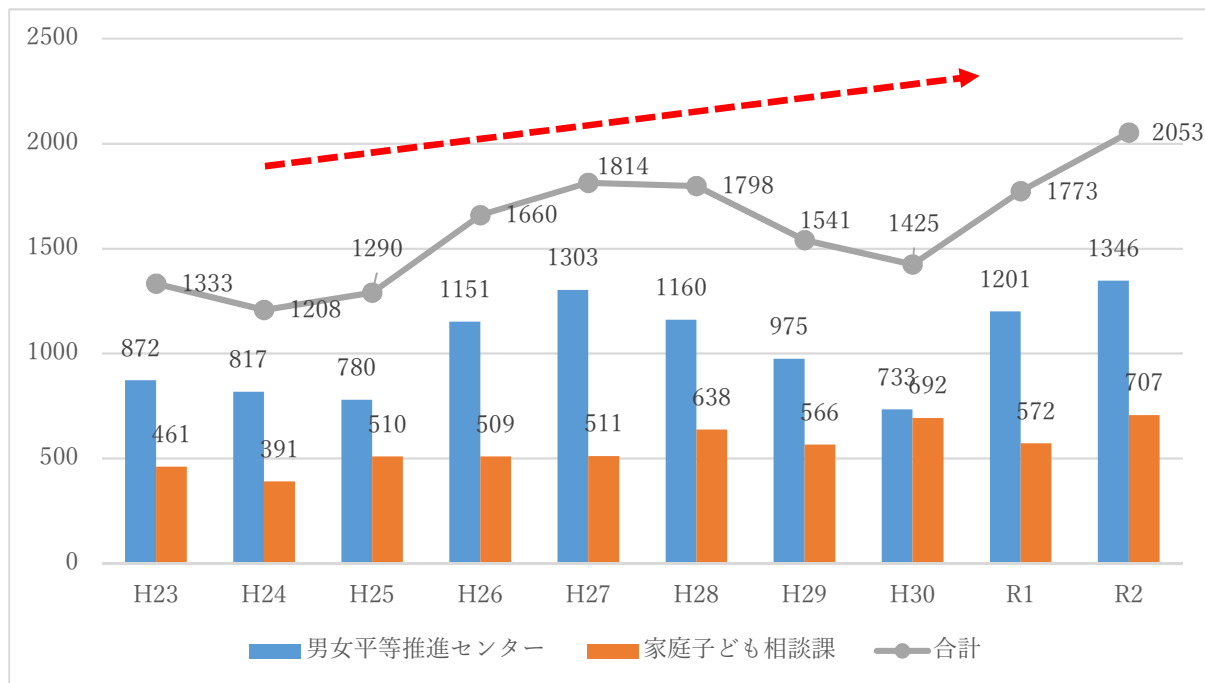
虐待事例の多くが同居親族によるものである。



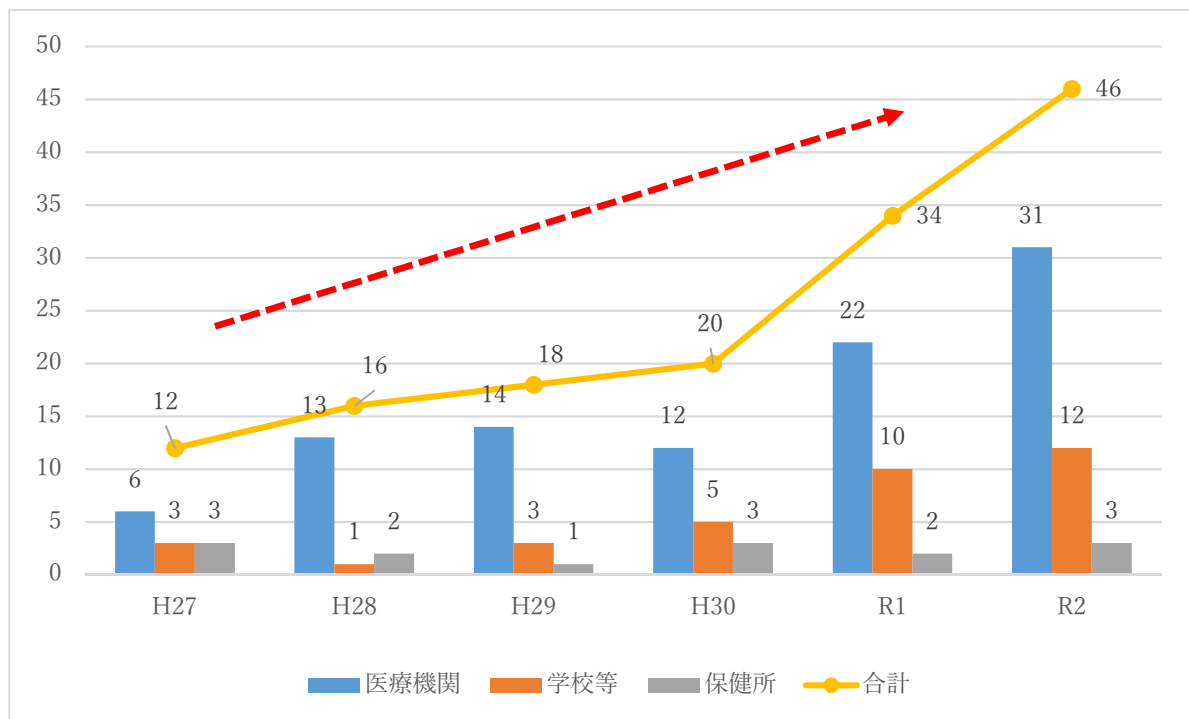
10 DVに関する状況

(1) DVの相談件数（男女平等推進センター、家庭子ども相談課集計）

DV相談は増加傾向にある。

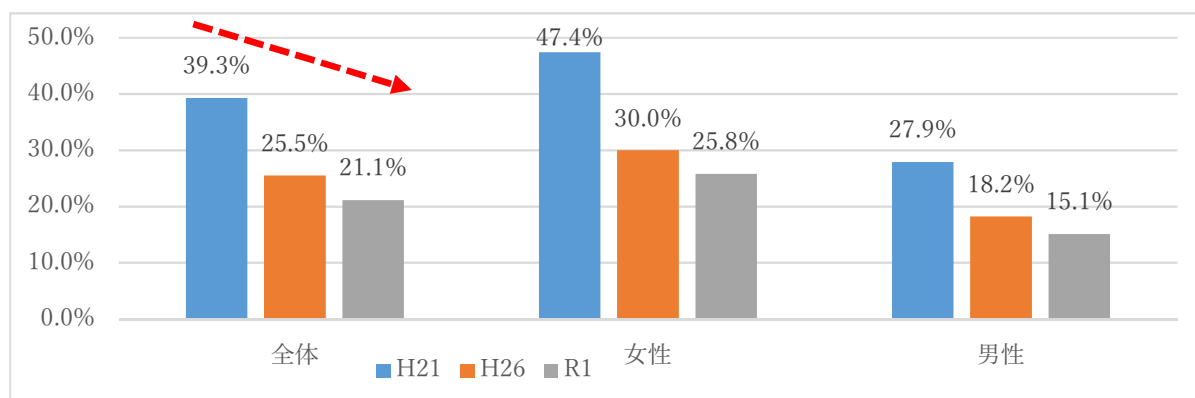


(2) 他の機関から相談に繋がった件数（男女平等推進センター、家庭子ども相談課集計）

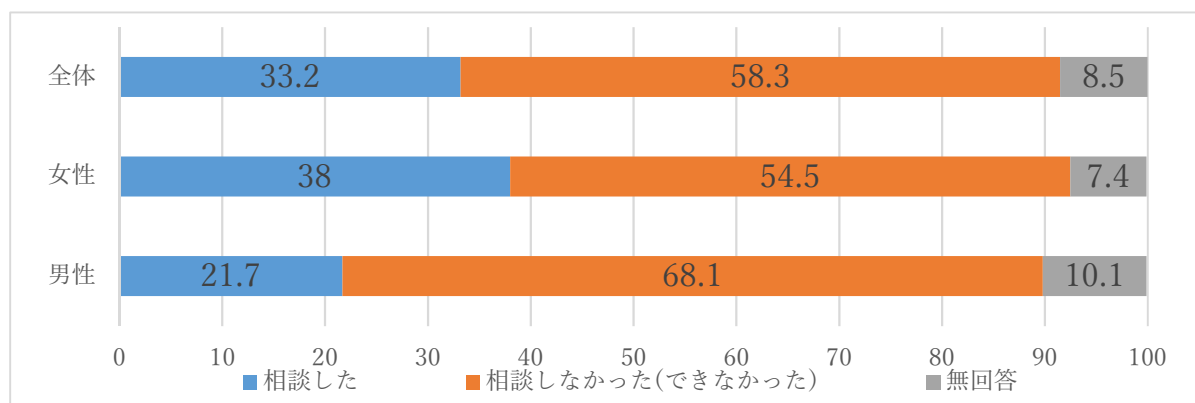


(3) DVを受けた経験がある人の割合（久留米市男女平等に関する市民意識調査）

DVを受けた経験がある人の割合は減少傾向にあるが、現在もなお、約4人に1人の女性がパートナーから暴力を受けた経験を持っている。

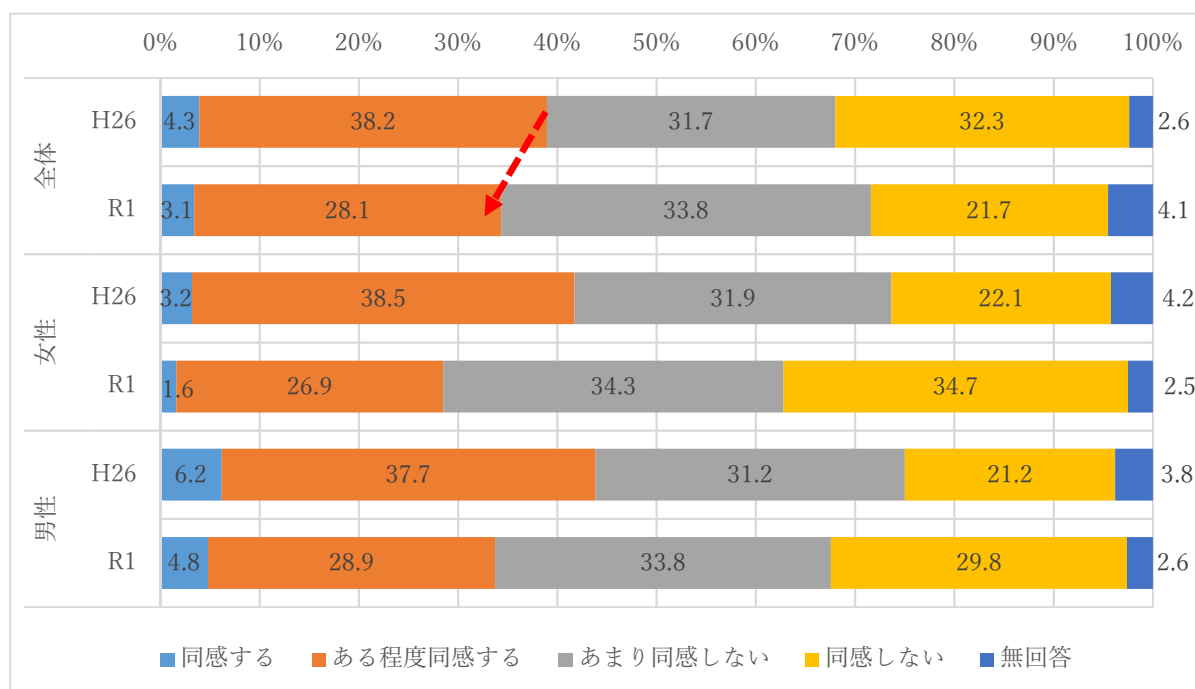


また、R1年の調査では、DVを受けた経験のある人のうち、58.3%の人が相談できていない。



(4) 「男は仕事、女は家庭」という考え方に関する割合（久留米市男女平等に関する市民意識調査）

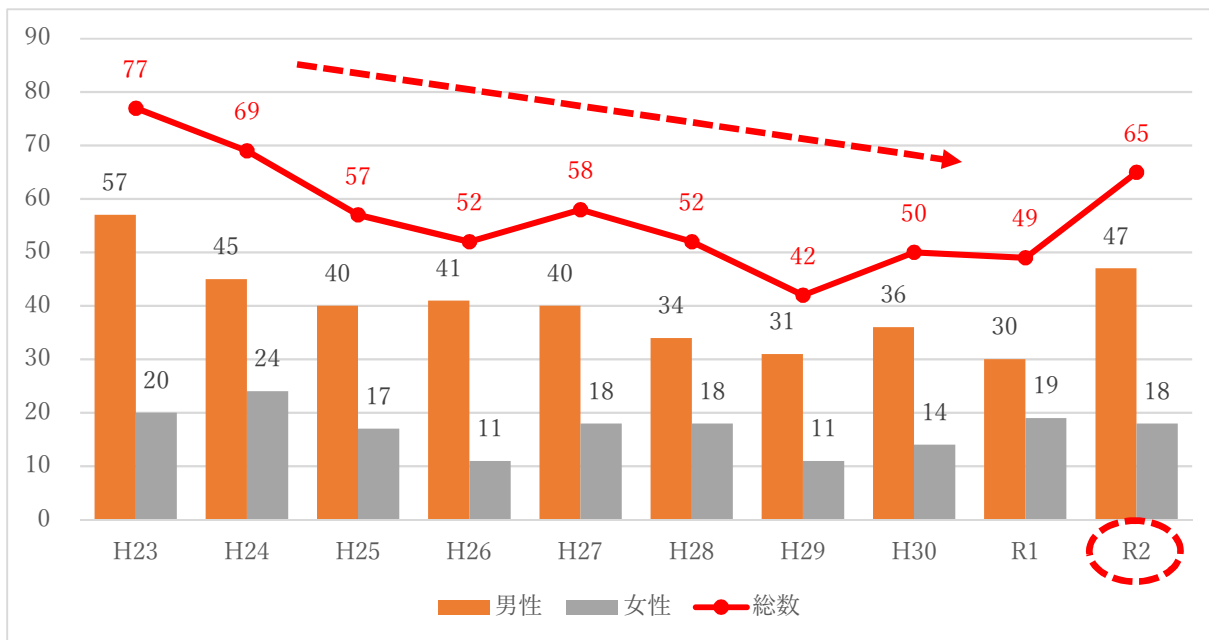
「同感する」と「ある程度同感する」を合わせた“同感する”の割合が減少している。



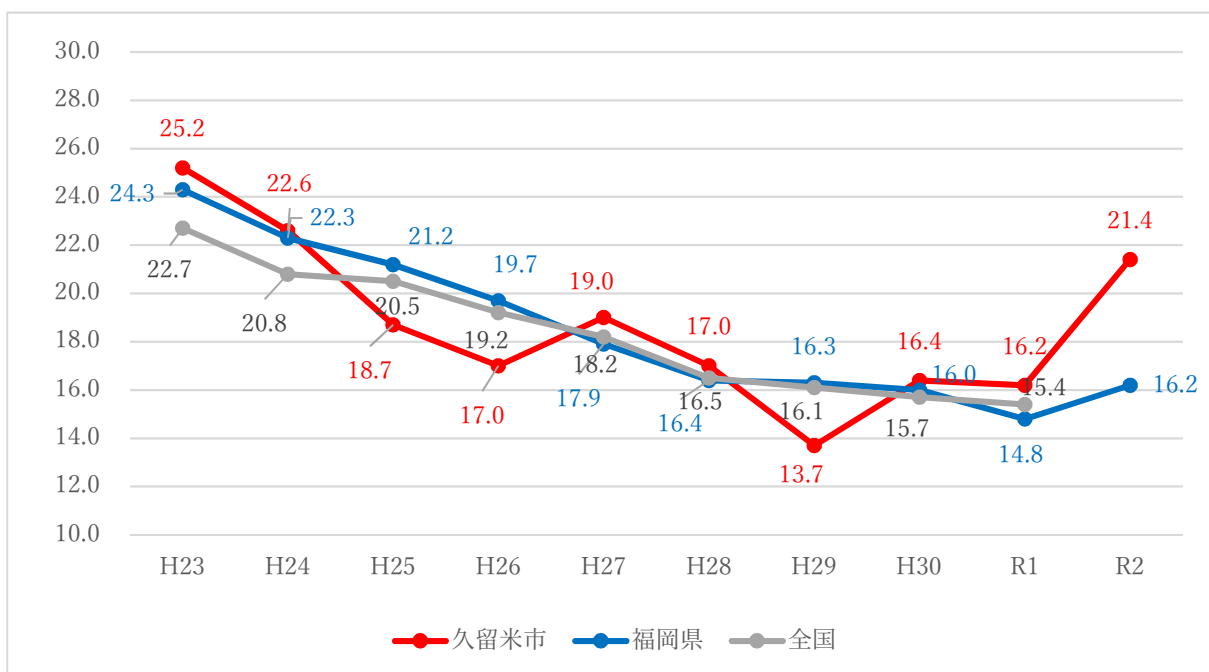
Ⅱ 自殺に関する状況（人口動態統計）

（１）久留米市の自殺者数

自殺者数は減少傾向にあったが、R2 は増加に転じた。



（２）人口１０万人当たりの自殺死亡率



Ⅱ 災害に関する状況

(1) 久留米市における1時間あたりの降水量の最大値（気象庁ホームページ）

